

H

FM / AM(ラジオ)を聞く

FM
/
AM

各部の名称とはたらき	H-2
タッチパネル部について	H-2
表示部について	H-4
FM / AM放送を切り替える	H-5
選局する	H-5
プリセットボタンにメモリーする	H-10
交通情報を受信する	H-12
道路交通情報を聞く	H-12
道路交通情報の受信を止める	H-12

タッチパネル部について

(例)FMモード TOP 画面



(例) FMモード リスト画面

(プリセット1 / プリセット2 ボタン選択時)



(例) FMモード リスト画面

(エリア ボタン選択時)



- ① **切替 ボタン**
時計のみ表示させFM / AMを聞くことができます。
[] G-15
- ② **交通情報 ボタン**
道路交通情報を受信します。
[] H-12
- ③ **バンド ボタン**
タッチするたびにAMモード↔FMモードと切り替わります。
[] H-5
- ④ **リスト ボタン**
現在の車の位置周辺で放送されている放送局をリスト表示します。
[] H-6
- ⑤ **戻る ボタン**
TOP画面に戻ります。
- ⑥ **エリア ボタン***
現在の車の位置周辺で放送されている放送局を
エリア表示 (1～12)に表示します。
[] H-6
- ⑦ **プリセット1 / プリセット2 ボタン***
ユーザープリセット1(プリセット1) / ユーザープリセット2(プリセット2)を表示します。
[] H-7
- ⑧ **A.SEL ボタン**
1.5秒以上タッチでオートセレクトを開始します。
(表示灯点灯)
[] H-11
※セレクトされた放送局は **プリセット** (1～12)に表示されます。
短タッチでオートセレクト画面とユーザプリセット画面の切り替えとなります。
[] H-8
- ⑨ **プリセット ボタン(1～6)**
1.5秒以上タッチで好きな放送局をメモリーします。
[] H-10(エリアボタン選択時は除く)
※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽く(1.5秒未満)タッチします。
[] H-7
- ⑩ **エリア更新 ボタン(1～12)**
エリア タッチで表示させた放送局を最新の情報(放送局)で表示します。
[] H-6アドバイス内
- ⑪ **エリア表示 ボタン(1～12)**
エリア選局画面でエリアが **エリア表示** (1～12)に表示されます。
[] H-6
※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽く(1.5秒未満)タッチします。



アドバイス

*印…オートセレクト画面(**A.SEL** の表示灯点灯)のとき、**エリア** / **プリセット1** / **プリセット2** は表示されません。

表示部について

(例)FMモード TOP画面



① FM / AM表示

選択中のバンド(FM放送 / AM放送)を表示します。

☞ H-5

② 周波数表示

③ 放送局名表示

※放送局名は、現在の車の位置周辺の放送局名を表示しますが、全ての放送局の名称が表示されるわけではありません。

④ 音場表示

選択中の音場を表示します。☞ G-18

※イコライザー設定中は **EQ** マークが表示されます。

☞ G-20

⑤ エリア表示 / プリセット表示 / オートセレクト表示

※リストから選択したボタン(**エリア** / **プリセット1** / **プリセット2** / **A.SEL**)によって表示は異なります。

エリア	選択時に表示
プリセット1	プリセット1 選択時に表示
プリセット2	プリセット2 選択時に表示
オートセレクト	A.SEL 選択時に表示

⑥ ステレオ放送表示

ステレオ放送受信時のみ表示されます。

1 バンド をタッチする。

(例) FM モード (FM 放送) TOP 画面



(例) AM モード (AM 放送) TOP 画面


FM
/
AM

：タッチするたびに AM 放送 ↔ FM 放送を切り替えます。

選局する

手動選局／自動選局／エリア選局／ユーザープリセット選局／オートセレクト選局があります。

1 選局する。

■ 手動選局で放送局を選ぶ場合

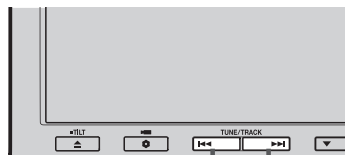
① ◀▶ (選局) を押す。

：ボタンを押すたびに、FM は 0.1 MHz、
AM は 9 kHz ずつ変わります。

■ 自動選局で放送局を選ぶ場合

① ◀▶ (選局) を 1 秒以上押す。

：自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。
希望の放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。
※自動選局中に ◀▶ (選局) を押すと、自動選局は止まります。



1 ◀▶ (選局)
ボタン

◀▶ 側ダウン
▶▶ 側アップ



アトハイス

- 選局中は表示部に“サーチ中…”と表示されます。
- FM ステレオ放送を受信すると **STEREO** が表示されます。(AM ステレオ放送はありません。)
- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

■ エリア選局で放送局を選ぶ場合

現在の車の位置周辺で放送されている放送局を呼び出すことができます。

- ① **リスト** → **エリア** をタッチする。



：現在地周辺のエリアで放送されている放送局が **エリア表示** (1～12) に表示されます。

★印… **エリア** が **エリア更新** に切り替わります。 **プリセット1** / **プリセット2** をタッチすると、**エリア** に戻ります。

- ② **エリア表示** (1～12) の
中で聞きたい放送局を
タッチする。

：選択したラジオ放送を受信
します。

エリア表示 ボタン



アドバイス

- 表示された放送局が必ず受信されるわけではありません。
- 地域によって放送局の数が異なりますので、全ての **エリア表示** に表示されるとは限りません。
- エリア表示のまま放置(走行)していた場合に **エリア更新** をタッチするとエリアが更新され、現在地周辺の最新エリアの放送局が表示されます。
- 放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、重複した放送局が表示されることがあります。
- ＊印… リスト画面は選択するボタン(**エリア** / **プリセット1** / **プリセット2** 、 **A.SEL**) によって異なります。[H-9 アドバイス参照]

■ ユーザープリセット選局で放送局を選ぶ場合

プリセット (1～6)にメモリーした放送局を呼び出すことができます。

※あらかじめ **プリセット** (1～6)に放送局をメモリーしておく必要があります。

「**プリセット**ボタンにメモリーする」H-10

- ① **リスト** → **プリセット1** / **プリセット2** をタッチする。



：選択中モード(FM / AM)のプリセット表示となります。

- ② 呼び出したい **プリセット** (1～6)をタッチする。



：選択したラジオ放送を受信します。



アドバイス

- オートセレクト画面を表示している場合は **A.SEL** をタッチして表示灯を消灯し、ユーザープリセット画面に切り替えて手順①-2を行なってください。

「**オートセレクト画面のときユーザープリセット／エリア画面に戻すとき**」H-9

- *印…リスト画面は選択するボタン(**エリア** / **プリセット1** / **プリセット2**、 **A.SEL**)によって異なります。「**H-9**アドバイス参照

■ オートセレクト選局で放送局を選ぶ場合

オートセレクト(自動でFM／AM各12局までメモリー)した放送局を **プリセット** (1～12)に表示し、呼び出すことができます。

※あらかじめオートセレクトをしておく必要があります。

☞「■ オートセレクトプリセット(自動メモリー)をする場合」H-11

① リスト → **A.SEL** をタッチする。

(例)FMモードTOP画面



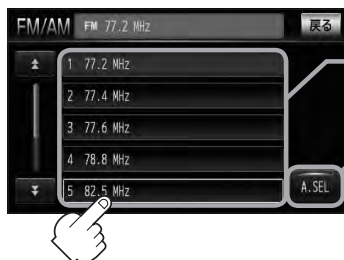
(例)リスト画面*
ユーザープリセット表示



：オートセレクトでメモリーした放送局を **プリセット** に表示します。

② **プリセット** (1～12)の中で聞きたい放送局をタッチする。

(例)リスト画面*
オートセレクト表示



プリセット ボタン(1～12)

※セレクトできた局の数によって
ボタンの数も変わります。

オートセレクト機能が働いて
いるとき表示灯点灯

：選択したラジオ放送局を受信します。



アドバース

*印…リスト画面は選択するボタン(**エリア** / **プリセット1** / **プリセット2** / **A.SEL**)によって異なります。☞ H-9 アドバース参照

□ オートセレクト画面のときユーザープリセット／エリア画面に戻るとき

1. **A.SEL** をタッチする。

：表示灯が消灯し、ユーザープリセットまたはエリア画面に戻ります。

※ **A.SEL** をタッチするたびにオートセレクト ↔ エリア画面／ユーザープリセットと切り替わります。

(例)オートセレクト画面



表示灯

FM
/AM



アドバース

- **A.SEL** を 1.5 秒以上タッチした場合はオートセレクトサーチの開始となります。

【例】H-11

- 表示された放送局が必ず受信されるわけではありません。



アドバース

FM／AMモードのリスト画面は選択するボタン(**エリア**／**プリセット1**／**プリセット2**／**A.SEL**)によって異なり、画面が下記のように変わります。

(例)FMモード リスト画面

エリア 選択時
(エリア表示)



A.SEL をタッチ
して表示灯を点灯
すると

プリセット1 /
プリセット2
をタッチすると

エリア を
タッチすると

(例)FMモード リスト画面

プリセット1 / **プリセット2** 選択時
(ユーザープリセット表示)



A.SEL をタッチ
して表示灯を点灯
すると

(例)FMモード リスト画面

A.SEL 選択時
(オートセレクト表示)



A.SEL をタッチ
して表示灯を消灯
すると

A.SEL をタッチ
して表示灯を消灯
すると

プリセットボタンにメモリーする

プリセットボタンにメモリーする方法としてユーザープリセット(手動メモリー)とオートセレクトプリセット(自動メモリー)があります。

1 バンドを選ぶ。

☞ 「FM／AM放送を切り替える」H-5

2 リスト をタッチする。

：リスト画面が表示されます。

(例)FMモード TOP画面



3 プリセットする方法を選択する。

(ユーザープリセット／オートセレクトプリセット)

■ ユーザープリセット(手動メモリー)をする場合

メモリーしたい局を選び、**プリセット** (1～6)にメモリーします。

※ **プリセット** には、FM・AMの各モードでプリセット1／プリセット2画面に6局ずつ、計24局メモリーすることができます。

① **プリセット1**／**プリセット2** をタッチする。

(例)FMモード リスト画面



：ユーザープリセット1またはユーザープリセット2画面が表示されます。

② **◀◀**／**▶▶** (選局)を押して、メモリーしたい局を選ぶ。

☞ 「■ 手動選局で放送局を選ぶ場合」／

☞ 「■ 自動選局で放送局を選ぶ場合」H-5

- ③ **プリセット** (1～6)のうち、メモリーしたいボタンを1.5秒以上(プリセットボタンの表示がメモリーしたい局の表示に変わるまで)タッチする。



プリセット ボタン(1～6)



アドバンス

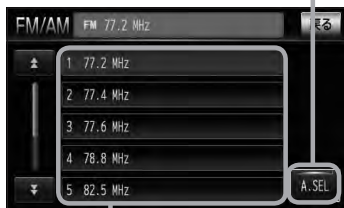
- すでにプリセットされているボタンに新たにプリセットすると、それまでの放送局は上書き(消去)されます。
- メモリーした放送局を呼び出すには、**プリセット1** または **プリセット2** をタッチし、呼び出したい **プリセット** (1～6)を軽く(1秒未満)タッチします。
 [音] 「■ ユーザープリセット選局で放送局を選ぶ場合」 H-7

■ オートセレクトプリセット(自動メモリー)をする場合

現在の車の位置で受信できる放送局を自動でFM/AM各12局まで **プリセット** にメモリーします。

- ① **A.SEL** を1.5秒以上タッチする。

オートセレクト機能が働いているとき表示灯点灯



プリセット ボタン(1～12)

： **A.SEL** の表示灯点灯し、受信した放送局を **プリセット** にメモリー(表示)します。



アドバンス

- メモリーした放送局を呼び出すには、呼び出したい **プリセット** (1～12)を軽く(1秒未満)タッチします。
 [音] 「■ オートセレクト選局で放送局を選ぶ場合」 H-8
- 1局も放送局をメモリーできなかった場合、表示部に“受信できません”と表示し、メモリーする前の放送局に戻ります。
- オートセレクト画面からユーザープリセット画面に戻すには、**A.SEL** をタッチし、表示灯を消灯させてください。

道路交通情報を聞く

- 1 FM／AMモードTOP画面で **交通情報** をタッチする。

：交通情報画面が表示され、AMラジオ局の道路交通情報を受信します。

※初期状態は1620kHzに設定されています。

FM／AMモードTOP画面(例)



■ 周波数の設定を変える場合

- ① 受信したい周波数(**1620kHz** ／ **1629kHz**)をタッチする。



：選択した周波数の道路交通情報を受信します。



アドバイス

次回、 **交通情報** をタッチすると前回選択した周波数の交通情報を受信します。

道路交通情報の受信を止める

■ **戻る** をタッチした場合

：最後に選択していたモードが表示され、交通情報の受信を終了します。

■ **電源** を押した場合

：画面に“OFF”と表示されAV電源が切れます。



アドバイス

道路交通情報は、AV SOURCE画面から也表示できます。



1 **AUDIO** ボタン



(例)交通情報画面



1. **AUDIO** を押す。

： AV SOURCE画面が表示されます。

2. **交通情報** をタッチする。

： 道路交通情報を受信します。

CD / MP3 / WMA を聞く

WMA
MP3
CD

MP3 / WMA ファイルについて	I-2
各部の名称とはたらき	I-8
タッチパネル部について	I-8
表示部 (再生画面) について	I-9
好きなフォルダを選ぶ	I-10
再生を一時停止する	I-10
トラックリストより好きなトラックを選び 再生させる	I-11

● MP3とは？

MP3(MPEG Audio Layer 3)は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、CDデータに比べ最大約1/10のサイズに圧縮することができます。

・ MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.

● WMAとは？

WMA(Windows Media™ Audio)は米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Playerを使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率(約2倍)で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにデジタルならではの高音質を得ることができます。

DRM(デジタル著作権管理)には対応していません。

Windows Media Audio Standard フォーマット以外のフォーマットには対応しておりません。

● トラック名／アーティスト名／アルバム名表示について

曲のタイトル、アーティスト名などをID3タグ(MP3用)やWMAタグと呼ばれる付属文字情報を使って保存、表示させることができます。

● CD-R / CD-RWについて

・ CD-R、CD-RWは通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズがつくと再生できない場合や音飛びする場合があります。

・ 一部のCD-R、CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。

※CD-R、CD-RWは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

● MP3 / WMA ファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。CD-RWはディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。

● マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3 / WMA ファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once” で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。



アドバンス

● ディスク内のファイルをチェックしている間、音はでません。

● ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3 / WMA ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

● 再生不可能なファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(再生しません。)

● MP3以外のファイルに“MP3”の拡張子またはWMA以外のファイルに“WMA”の拡張子を付けると、MP3ファイル / WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3 / WMA ファイル以外に、“MP3” / “WMA”の拡張子を付けしないでください。

MP3 / WMA以外の形式のファイルは動作を保証しておりません。

- MP3／WMAの音楽ファイルはMP3／WMA／USB^{*1}／SD^{*2}モードで再生することができます。

*1／*2印… J-3

● 音楽ファイルMP3/WMAの規格について

使用可能なメディア	CD-R、CD-RW、DVD±R、DVD±RW
再生モード	MP3/WMAモード
再生可能なMP3/ WMAファイルの規格	・ MP3…MPEG Audio Layer 3 ・ WMA…Windows Media Audio ※ m3u / MP3i フォーマット / MP3 PRO フォーマット / ディエンファシスには対応していません。 ※ WMA9 Professional / WMA9 Losslessには対応していません。 ※ 2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
再生可能なMP3/WMAファイルの拡張子	MP3、mp3、WMA、wma (大文字、小文字どちらでも使用可能)
使用できるメディアフォーマット	拡張フォーマットを除いたISO9660レベル1およびレベル2 ※バケットライトには対応していません。
最大フォルダ名/ ファイル名文字数	全角32／半角32文字
フォルダ名／ファイル名 使用可能文字	A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、_(アンダースコア)、全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角／半角)
最大フォルダ階層	8階層
1フォルダ内の 最大ファイル数	255(ファイル+フォルダ数：ルートフォルダ含む)
1メディア内の 最大ファイル数	999
最大フォルダ数	100
表示可能なID3タグ／WMAタグ	トラック名／アーティスト名／アルバム名
ID3タグ表示可能文 字数	Ver 1.0/1.1：全角15/半角30文字 Ver 2.2/2.3：全角32/半角64文字
	※ ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
WMAタグ表示可能 文字数	全角32/半角32文字
ID3タグ／WMAタグ 推奨文字コード	シフトJIS

※著作権保護されたWMAは再生できません。

- 再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3

	MPEG1	MPEG2
サンプリング周波数 (kHz)		
16.000	—	○
22.050	—	○
24.000	—	○
32.000	○	—
44.100	○	—
48.000	○	—
ビットレート (kbps)		
8	—	○
16	—	○
24	—	○
32	○	○
40	○	○
48	○	○
56	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
112	○	○
128	○	○
144	—	○
160	○	○
192	○	—
224	○	—
256	○	—
320	○	—
VBR	○	○

※ VBR : 可変ビットレート

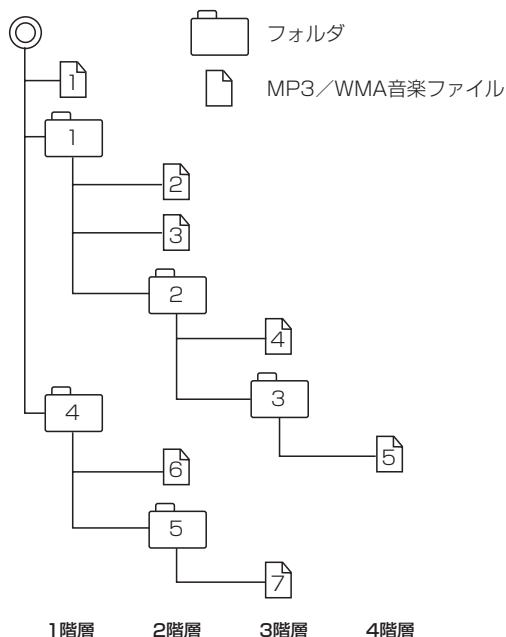
WMA

	WMA7	WMA9 standard
サンプリング周波数 (kHz)		
32.000	○	○
44.100	○	○
48.000	—	○
ビットレート (kbps)		
48	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
128	○	○
160	○	○
192	○	○
256	—	○
320	—	○
VBR	—	○

※ VBR：可変ビットレート

- 32kHz以下のサンプリング周波数のMP3 / WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 64kbps以下のビットレートで記録されたMP3 / WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 一般的にビットレートが高くなるほど音質はよくなります。一定の音質で音楽を楽しんでいたくためにはMP3では 128 kbps、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたファイルの使用をおすすめします。
- VBR(可変ビットレート)に対応しています。
- フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。

● 階層と再生順序について



[以下はCDのMP3 / WMAのみ]

- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- 本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- 同じ階層に複数のMP3 / WMA 音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- 通常は、**①→②→③→④→⑤→⑥→⑦**の順に再生します。
- 8階層までのMP3および、WMA ファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層を2つ以下にすることをおすすめします。

● MP3／WMA ファイルの作り方について

MP3／WMA ファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

● インターネットの配信サイトより入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々な音楽配信サイトがあります。音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけられているものがあります。著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。

● 音楽CDをMP3またはWMAファイルに変換する場合

パソコンと市販のMP3／WMAエンコーダ(変換)ソフトを用意します(インターネット上で無料配信されているエンコーダソフトもあります)。エンコーダソフトを使って音楽CDをMP3／WMA形式のファイルに変換することで12cmの音楽CD1枚(最大74分収録／データ容量650 MB)が約65MBのデータ量(約10分の1)になります。(詳しくはエンコーダソフト等の説明をご参照ください。)本機はWMAのDRM(デジタル著作権管理)に対応していないため、Windows Media Playerを使用してWMAを作成するときは“取り込んだ音楽を保護する(Ver.によって表現が異なる場合もあります。)”の項目にチェックを付けないでください。

● CD-R／CD-RWに書き込む場合

MP3／WMA ファイルをパソコンに接続されているCD-R/RW ドライブを介してCD-R/RWに書き込みます。この時、ライティングソフトで本機が対応している記録フォーマットに設定して書き込みます。



オーディオ

● CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。

● MP3は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。

● ディスクにMP3／WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。

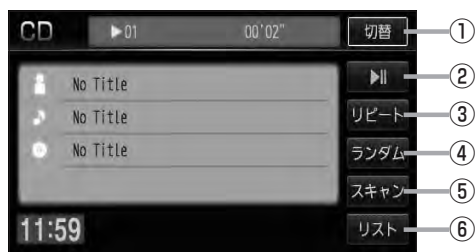
● MP3／WMA ファイルの作成の詳しくはエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。

● MP3／WMA ファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。セッションクローズ、ファイナライズ処理を行っていないディスクは再生できません。

● 極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。

タッチパネル部について

(例)CDモード TOP画面



(例)MP3モード TOP画面



① 切替 ボタン

時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。

☞ G-15

② 再生/一時停止 ボタン

再生中にタッチすると音声が一時的に止まります。
もう一度タッチすると再び再生が始まります。

☞ I-10

③ リピート ボタン

リピート(繰り返し)再生します。

☞ G-12

④ ランダム ボタン

ランダム(順序不同)再生します。

☞ G-13

⑤ スキャン ボタン

スキャン(曲の頭)再生します。

☞ G-14

⑥ リスト ボタン

トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。

☞ I-11

⑦ フォルダ- ボタン

前のフォルダに戻ります。

☞ I-10

⑧ フォルダ+ ボタン

次のフォルダに進みます。

☞ I-10



アドバンス

- 1枚のディスクに音楽トラックとMP3/WMAのデータが混在する場合は、MP3/WMAデータは再生できません。

- パネル部に配置されているボタンにつきましては☞ G-2を参照してください。

表示部(再生画面)について

(例)CDモード TOP画面
(リピート再生時)



(例)MP3モード TOP画面
(リピート再生時)



① 再生状態表示

- ▶ : 通常再生
- ▶▶ : 早送り
- ◀◀ : 早戻し
- ⏸ : 一時停止

② トラック番号*1

③ 再生時間表示

④ タイトル名表示

アーティスト名/トラック名/アルバム名*1

アーティスト名/トラック名/アルバム名/フォルダ名*2

⑤ 音場表示

選択中の音場を表示します。[G-18]

※イコライザー設定中は [ED] マークが表示されます。
[G-20]

⑥ リピート/ランダム/スキャン選択時に表示

※表示内容につきましては[G-12]をご覧ください。

⑦ 再生ファイル(モード)表示

※ [MP3] …MP3 ファイル(モード)

[WMA] …WMA ファイル(モード)



アドバイス

- アーティスト名/トラック名/アルバム名の最大表示文字数は全角32(半角64)文字です。
(本機は漢字・ひらがな・カタカナ対応しています。)
- フォルダ名の最大表示文字数は全角32(半角32)文字です。*2
- タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名をタッチしてスクロールさせ、続きを確認することができます。
※タイトル名が一巡します。またスクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- DISCにCD-TEXT情報があれば、アーティスト名/トラック名/アルバム名が表示されます。
DISCにCD-TEXT情報がなければ、アーティスト名/トラック名/アルバム名は全て“No Title”と表示されます。(市販されている音楽CDの大多数にはCD-TEXT情報は入っていません。)
- アーティスト名/トラック名/アルバム名が記録されていないDISCの場合は、“No Title”と表示されます。*2
- アーティスト名/トラック名/アルバム名の表示が実際と異なって表示される場合があります。

*1 1印…CDモードの場合

*2 2印…MP3/WMAモードの場合

好きなフォルダを選ぶ

※ MP3 / WMA モードの場合

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1

フォルダー / **フォルダ+** をタッチする。

■ 前のフォルダに戻る場合

① **フォルダー** をタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合

① **フォルダ+** をタッチする。

(例)MP3モード TOP 画面



再生を一時停止する

1

▶|| (再生 / 一時停止) をタッチする。

: 画面に **||** を表示し、音声が一時的に止まります。

(例)MP3モード TOP 画面



一時停止状態



■ 再び再生を始める場合

① 一時停止中に **▶||** (再生 / 一時停止) をタッチする。

: 画面に **▶** を表示し、再生を止めた続きから再生を始めます。

トラックリストより好きなトラックを選び再生させる

I-11

トラックを一覧表示させ、再生させることができます。

1

リスト をタッチする。

：トラックリストが表示されます。

※MP3／WMAモードの場合は、再生しているフォルダのファイル(曲)がトラックリストに表示されます。

(例)MP3モード TOP画面



2

再生したいトラックをタッチする。

：選択したトラックが再生されます。



- ◀◀ / ▶▶ を押してトラックを選曲することもできます。

⏮ G-10

CDモード時のトラックリストについて

- DiscにCD-TEXT情報があれば、トラックリストにトラック名が表示されます。
- DiscにCD-TEXT情報がなければ、トラックリストにTRACK 1、TRACK 2、TRACK 3…と表示されます。

MP3／WMAモード時のトラックリストについて

- トラックリストにはファイル名が表示されます。

3

TOP画面に戻るには、**戻る** をタッチする。



J

USB機器を使う (USBフラッシュメモリ)

USB機器について	J-2
再生可能なデータについて	J-3
USB機器を接続する	J-5
USB機器を本機に接続する	J-5
USB機器の接続をやめる	J-5
各部の名称とはたらき	J-6
タッチパネル部について	J-6
表示部(再生画面)について	J-7
好きなフォルダを選ぶ	J-8
再生を一時停止する	J-9
リストより選曲する	J-10

USB機器にMP3／WMA／AAC形式で作成された音楽データを本機で再生することができます。

- 本機の再生仕様から外れる音楽ファイルは再生できません。
- MP3／WMA／AACは音声圧縮フォーマットです。

- MP3／WMAの規格につきましては「[図 J-3](#)の表を参照、サンプリング周波数やビットレートにつきましては「[図 I-4、I-5](#)を参照ください。
 - AACの規格(サンプリング周波数／ビットレート／ファイル名など)につきましては「[図「● AACの規格について」](#)」「[● 音楽ファイルの再生について](#)」「[● 音楽ファイルのファイル名について](#)」J-4を参照ください。

- USB機器(USBフラッシュメモリ)内のデータは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっているデータの記録された“USB機器”は、著作権法の規定による範囲内で使用してください。
- 本機にはUSB機器は付属しておりません。
※それぞれの規格に準じた市販品をお買い求めください。
- 32GBまでの容量のUSB機器(USBフラッシュメモリ)に対応しています。また、256MB以上のUSB機器(USBフラッシュメモリ)の使用をおすすめします。
※ウォークマン[®](USB音楽プレーヤー)には対応していません。
- 別売のUSBメモリーデバイスコードにUSB機器を接続してご使用ください。
「[図「USB機器を接続する」](#)」J-5
- マスストレージクラスのUSBフラッシュメモリに対応しています。
- パーティションが複数あるデバイスには対応していません。
- 電流が500mAを超えるデバイスには対応していません。
- パソコンに接続した際、ドライバを要求されるデバイスには対応していません。
- セキュリティ機能など特殊な機能が付いているUSB機器には対応していません。
- USB機器に記憶されている音楽データを本機で編集することはできません。
- USB機器の音楽再生中にUSB機器(または別売のUSBメモリーデバイスコード)を外さないでください。
※USBモードを終了(OFF状態に)させてから外してください。
- USBハブ、USB延長ケーブルを介した接続には対応していません。
- すべてのUSB機器の動作保証するものではありません。
- 本機で再生する音楽データは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはUSB機器の保存内容が失われる恐れがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。
- USB機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- USB機器が接続されているときに、USB機器の上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。

● 音楽ファイルMP3/WMAの規格について

使用可能なメディア	USBフラッシュメモリ
再生モード	USBモード
再生可能なMP3/ WMAファイルの規格	・ MP3・・・MPEG Audio Layer 3 ・ WMA・・・Windows Media Audio ※ m3u / MP3i フォーマット / MP3 PRO フォーマット / ディエンファシスには対応していません。 ※ WMA9 Professional / WMA9 Losslessには対応していません。 ※ 2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
再生可能なMP3/WMAファイルの拡張子	MP3, mp3, WMA, wma (大文字、小文字どちらでも使用可能)
使用できるメディアフォーマット	FAT16 / FAT32
最大フォルダ名/ ファイル名文字数	全角32 / 半角64文字
フォルダ名 / ファイル名 使用可能文字	A～Z(全角 / 半角)、0～9(全角 / 半角)、_(アンダースコア)、全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角 / 半角)
最大フォルダ階層	8階層
1フォルダ内の 最大ファイル数	255(ファイル+フォルダ数: ルートフォルダ含む)
1メディア内の 最大ファイル数	10,000
最大フォルダ数	400
表示可能なID3タグ / WMAタグ	アーティスト名 / トラック名 / アルバム名
ID3タグ表示可能文 字数	Ver 1.0/1.1 : 全角15 / 半角30文字 Ver 2.2/2.3 : 全角32 / 半角64文字 ※ ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
WMAタグ表示可能 文字数	全角32 / 半角64文字
ID3タグ / WMAタグ 推奨文字コード	シフトJIS

※著作権保護されたWMAは再生できません。

※上記内容は再生モードがSDモード(SDカード使用)時の場合も同様となります。  L-4

● AACとは？

Advanced Audio Codingの略でMPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3／WMAなどより高い圧縮率で音楽ファイルを作成・保存することができます。非圧縮のCDオーディオに迫る高音質を得ることができます。

● AACの規格について

サンプリング周波数	16～48kHz
対応ビットレート	8～320kbps
対応プロファイル	Low Complexity
再生可能な拡張子	M4A、m4a(大文字、小文字どちらでも使用可能)
最大フォルダ名／ファイル名文字数	全角32文字、半角64文字
フォルダ名／ファイル名使用可能文字	A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、_(アンダースコア)、全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角／半角)
最大フォルダ階層	8階層
1フォルダ内の最大ファイル数	255(ファイル数+フォルダ数：ルートフォルダ含む)
1メディア内の最大ファイル数	10,000
最大フォルダ数	400
表示可能なタグ	アーティスト名／トラック名／アルバム名
AACタグ表示可能文字数	全角32文字、半角64文字

※ 32kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

※ 64kbps以下のビットレートで作成されたMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

● 音楽ファイルの再生について

- ・ ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
 - ・ m3u／MP3iフォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシス／ADIFフォーマットには対応しておりません。
 - ・ 極端にファイルサイズの大きいファイル、極端にファイルサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
 - ・ 2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
 - ・ 複数のオーディオプログラムが入っているファイルは再生できません。
 - ・ 同一ファイル内にオーディオ以外の情報が入っているファイルは再生できません。
 - ・ トラックリストに表示される順番は、**図「● 階層と再生順序について」**1-6に従います。同じ階層にあるフォルダやファイルはメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想している順とは異なった順で表示されることがあります。
- ※ 正しい順番で表示させるには、ファイルの先頭に“01～99”など番号を付けてパソコンで期待する順番(名前順など)に並べフォルダに入れ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。

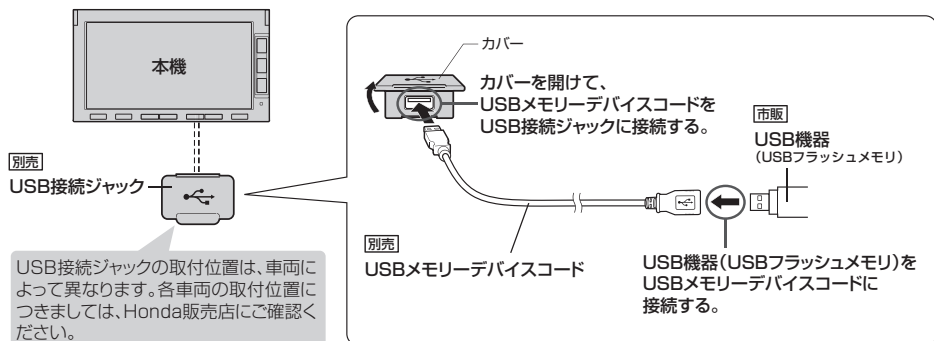
メディア上で番号を編集しても表示される順番は変わりません。

● 音楽ファイルのファイル名について

フォルダ名+ファイル名の合計文字数が半角250文字、全角125文字を超える場合、再生できません。

USB 機器を本機に接続する

- 1 別売のUSB接続ジャックと別売のUSBメモリーデバイスコードを使用してUSB機器を接続する。



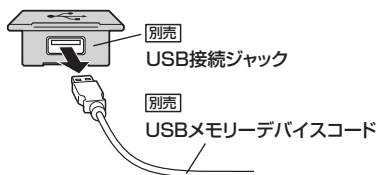
アドバース

- USB接続ジャックに別売のiPod接続コードが接続されている場合はそちらを外してください。[G-4]
※ USB機器使用時は、iPodは使用できません。
- ウォークマン® (USB音楽プレーヤー)には対応していません。

USB 機器の接続をやめる

- 1 [G-8]を押す。
: AV電源をOFFします。

- 2 USB接続ジャックからUSBメモリーデバイスコードを外す。



- 3 カバーを閉じる。

※ USBメモリーデバイスコードを外した後は、カバーを閉じてください。開けたままにすると異物が入ったり、体に当たって破損する恐れがあります。



アドバース

- USB機器を外して再度再生を始めると、前に再生していたつづきから再生を始めます。
※ USB機器認識中(再生中)に外した場合は、最初の曲の頭から再生する場合があります。
- 音楽再生中にUSB機器(またはUSBメモリーデバイスコード)を外すとデータがこわれたり、USB機器が破損する恐れがあります。必ずUSBモードを終了(OFF)にして外してください。

タッチパネル部について

(例)USBモード TOP画面

① **切替** ボタン

時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。

[図] G-15

② **▶||** ボタン(再生／一時停止)再生中にタッチすると音声が一時的に止まります。
もう一度タッチすると再び再生が始まります。

[図] J-9

③ **リピート** ボタン

リピート(繰り返し)再生します。

[図] G-12

④ **ランダム** ボタン

ランダム(順序不同)再生します。

[図] G-13

⑤ **スキャン** ボタン

スキャン(曲の頭)再生します。

[図] G-14

⑥ **リスト** ボタン

リストを表示させ、トラックの選択が可能です。

[図] J-10

⑦ **フォルダー** ボタン

前のフォルダに戻ります。

[図] J-8

⑧ **フォルダ+** ボタン

次のフォルダに進みます。

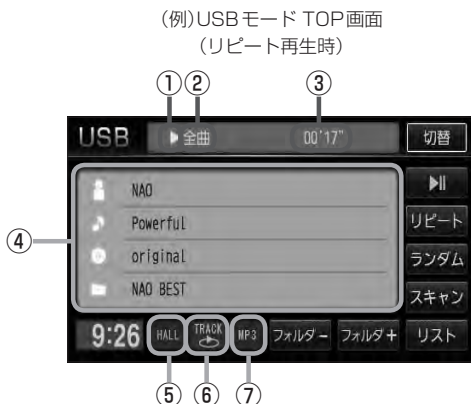
[図] J-8



アドバイス

パネル部に配置されているボタンにつきましては[図] G-2を参照してください。

表示部(再生画面)について



① 再生状態表示

- ▶ : 通常再生
- ▶▶ : 早送り
- ◀◀ : 早戻し
- || : 一時停止

② 選択中のリストの状態を表示

📁 J-10

③ 再生時間表示

④ タイトル名表示

アーティスト名/トラック名/アルバム名/
フォルダ名

⑤ 音場表示

選択中の音場を表示します。🔊 G-18

※イコライザー設定中は EQ マークが表示されます。
🔊 G-20

⑥ リピート/ランダム/スキャン選択時に表示

※表示内容につきましては📄 G-12をご覧ください。

⑦ 再生ファイル表示

再生中のファイルを表示します。

MP3 / WAV / AAC



アドバース

- アーティスト名/トラック名/アルバム名/フォルダ名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
(本機は漢字・ひらがな・カタカナ対応しています。)

- アーティスト名/アルバム名が記録されていない場合は、“No Title”と表示されます。

- トラック名がない場合はファイル名を表示します。

- TOP画面のとき、タイトル名が表示しきれない場合タイトル名(アーティスト名/トラック名/アルバム名/フォルダ名)をタッチしてスクロールさせ、続きを確認することができます。

※タイトル名が一巡します。またスクロール中にタッチするとスクロールを止めます。

USB 機器の中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1

フォルダー / **フォルダ+** をタッチする。

■ 前のフォルダに戻る場合

① **フォルダー** をタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合

① **フォルダ+** をタッチする。

(例)USBモードTOP画面



1

▶|| (再生／一時停止) をタッチする。

：画面に **||** を表示し、音声が一時的に止まります。

■ 再び再生を始める場合

① 一時停止中に **▶||** (再生／一時停止) をタッチする。

：画面に **▶** を表示し、再生を止めた続きから再生を始めます。



一時停止状態



USB
機器

全曲リストまたはフォルダリストより再生させたい曲(トラック)を選択し、再生させることができます。

1

リスト をタッチする。

：リスト画面が表示されます。

(例)USBモードTOP画面



2

リスト内から再生させたい曲(トラック)を選び、タッチする。

■ フォルダリストから選ぶ場合

① **フォルダリスト** をタッチする。

選択中のリストの状態を表示



：フォルダリストが表示されます。

※すでにフォルダリストを表示させている場合は、手順①を省略することができます。

② フォルダリストから再生させたいフォルダをタッチする。

(例)フォルダリスト



：フォルダ内の曲がリスト表示され、リスト一番上の曲が再生されます。

③ 曲リストから再生させたい曲(トラック)をタッチする。

(例)曲リスト



：曲(トラック)の再生が始まります。

■ 全曲リストから選ぶ場合

① 全曲リスト をタッチする。

選択中のリストの状態を表示



: USB 機器内の全ての曲(トラック)が表示され、最初の曲が再生されます。

※すでに全曲リストを表示させている場合は、手順①を省略することができます。

② 再生させたい曲(トラック)をタッチする。

(例)全曲リスト画面



: 曲(トラック)の再生が始まります。

USB
機器

3

TOP画面に戻るには、**戻る** をタッチする。



アドバンス



を押して曲(トラック)を選曲することもできます。

G-10

K

iPod を使う

iPod について	K-2
iPod とは	K-2
使用上のご注意	K-2
対応可能な iPod	K-3
iPod を本機に接続する	K-4
各部の名称とはたらき	K-5
タッチパネル部について	K-5
表示部 (再生画面) について	K-6
再生を一時停止する	K-7
リストより好きなトラックを選び再生させる	K-8
選曲モードより選択し再生させる	K-9
映像データを再生させる	K-14

K-2 iPodについて

Made for



iPod



iPhone

"Made for iPod" and "Made for iPhone" means that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.

iPad, iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod shuffle, and iPod touch are a trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

iPodとは

iPodとはApple Inc.が提供するポケットサイズの大容量保管装置です。曲やポッドキャスト*、フォト、ビデオデータなどを保管し、手軽に持ち運ぶことが可能です。



* 印…インターネット経由で配布されるダウンロード可能なラジオ形式の番組

アドハイス

使用上のご注意

- iPodは精密部品が内蔵されています。落としたり、ぶつけたりして損傷を与えないようにしてください。
- iPodのデータが紛失しても消去したデータの保証は致しかねます。
- iPod本体の保証は致しかねます。
- iPod本体の取扱説明書もあわせてご確認ください。
- iPodは個人として楽しむなどのほかは、権利者に無断で使用できません。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPod本体の設定の“EQ”を“オフ”以外にすると、音質が悪くなる場合があります。
- 本機への接続前と取り外し後で、iPodのリピートやシャッフルなどの設定が変わってしまう場合があります。
- iPodのソフトウェアのバージョンによって操作方法／仕様が異なる場合があります。
- iPod touch／iPhoneの本体でアプリケーションを使用していると、本機に接続した際、正しく動作しない場合があります。iPod touch／iPhone本体のアプリケーションを終了させてから本機に接続し、使用してください。
※音飛びや誤操作の原因になる場合があります。
- iPodは車のエンジンスイッチⅡ(ON)／O(ロック)にかかわらず接続できます。
- 本機で操作可能状態のとき、iPod側での操作はできません。
- iPod本体やiPod接続コードをエアバッグ等の作動を妨げるような場所や運転に支障をきたす場所に設置しないでください。
- 運転中は運転者自身によるiPodの接続や取り外しはやめてください。
- 本機にはiPodは付属しておりません。
- 別売のiPod接続コードにiPodを接続してご使用ください。☞「iPodを本機に接続する」K-4
- iPodを車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- iPodが接続されているときに、iPodの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。

対応可能な iPod

2011年6月現在

対応モデル	対応可否	ソフトウェア
iPod 第3世代	×	—
iPod 第4世代(クリックホイール)	×	—
iPod photo 含 iPod with color display	×	—
iPod 第5世代(with video)	●	1.3
iPod classic(80G/160G)	●	1.1.2
iPod classic(120G)	●	2.0.1
iPod classic(160G)	●	2.0.4
iPod mini(第1世代)	×	—
iPod mini(第2世代)	×	—
iPod nano(第1世代)	○	1.3.1
iPod nano(第2世代)	○	1.1.3
iPod nano(第3世代)	●	1.1.3
iPod nano(第4世代)	●	1.0.4
iPod nano(第5世代)	●	1.0.2
iPod nano(第6世代)	○	1.1
iPod touch(第1世代) (ソフトウェア ver1、ver2)	×	—
iPod touch(第1世代) (ソフトウェア ver3)	●	3.1.3
iPod touch(第2世代)	●	4.2.1
iPod touch(第3世代)	●	4.3.2
iPod touch(第4世代)	●	4.3.2
iPhone 3G(softbank)	●	4.2.1
iPhone 3GS(softbank)	●	4.3.2
iPhone 4(softbank)	●	4.3.2

●：オーディオ・ビデオ再生可／○：オーディオ再生可(ビデオ再生不可)／×：再生不可

最新の適応情報は下記 URL をご確認ください。

<http://www.honda.co.jp/navi/support/ipodlist/>

アドバンス

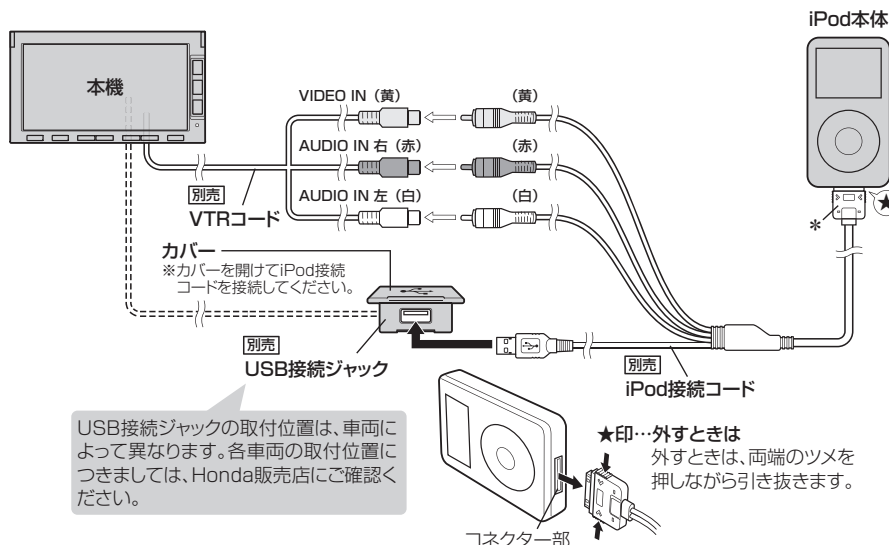
- 表に記載したソフトウェアバージョンは、弊社で確認を行なったバージョンを示しています。
- iPod、iPad2には対応していません。
- iPodは最新のソフトウェアバージョンをアップル社のWebサイトよりインストールしてご使用ください。
※最新のソフトウェアバージョンでない場合、正しく動作できないことがあります。
- 第4世代以前のiPodおよびiPod mini／iPod photoには対応しておりません。
- iPod／iPhoneをバージョンアップした際は必ずiPod／iPhoneを一度リセットしてください。
リセットを行なわないと正しく動作できない場合があります。
- iPodの機種、バージョンによっては一部機能の制限があります。
- ソフトウェアのバージョンはiPod本体の“情報”よりご確認ください。
- 各iPodの仕様につきましてはiPodをお取り扱いの販売店へお問い合わせください。

iPod を本機に接続する

1

別売のUSB接続ジャックに別売のiPod接続コードを接続し、iPod本体と接続する。

※別売のVTRコードとiPod接続コードを使用すると映像・音声の再生が可能となります。
(映像の再生につきましては「[K-14](#)」を参照ください。)



アドバイス

●USB接続ジャックにUSBメモリーデバイスコードが接続されている場合はそちらを外してください。

「[J-5](#)」

※iPod使用時は、USB機器(USBフラッシュメモリ)は使用できません。

- USB接続ジャックからiPod接続コードを外した後は、カバーを閉じてください。開けたままにすると異物が入ったり、体に当たって破損する恐れがあります。
- VTRコードにVTR機器が接続されている場合は、そちらを外してください。「[O-3](#)」
- ★印…コードの先端にはキャップが付いています。接続時以外はキャップをはめてください。
- 未接続の場合、AV SOURCE画面で「iPod」は選択できません。

iPod を本機に接続すると

- iPodに収録されたデータが本機に表示されます。
(なにも収録されていない場合は曲を聞くことはできません。)
- 本機の電源ON状態でiPod接続中は、常にiPodの充電が可能です。
- 接続中はiPod本体を操作しないでください。
- iPodが正しく動作しない、エラーメッセージが表示されたときは、iPodを外してiPodをリセットしてから再度接続してください。
- 接続した状態で車のエンジンスイッチをO(ロック)にすると約2分後にiPod本体の電源もOFFされます。(ただし、車のエンジンスイッチをO(ロック)にした場合の動作はiPodに依存しますので保証するものではありません。)

タッチパネル部について

(例) iPod モード TOP 画面
(音声再生時*)



① 切替 ボタン

時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。

☞ G-15

② 再生/一時停止 ボタン

再生中にタッチすると音声が一時的に止まります。
もう一度タッチすると再び再生が始まります。

☞ K-7

③ リピート ボタン

リピート(繰り返し)再生します。

☞ G-12

④ シャッフル ボタン

シャッフル再生をすることができます。

☞ G-14

⑤ モード切替 ボタン

ビデオ(映像)データに切り替わります。☞ K-14

⑥ 選曲 ボタン

iPodの選曲画面より再生したい曲を絞り込んで再生
することができます。

☞ K-9

⑦ リスト ボタン

選曲画面で選択したボタンのトラックリストより選
択再生することができます。

☞ K-8

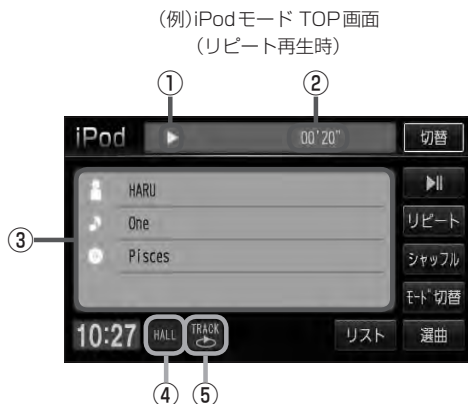


アドハイス

● パネル部に配置されているボタンにつきましては☞ G-2を参照してください。

● *印…映像再生時(ビデオモード時)の画面につきましては☞ K-14を参照ください。

表示部(再生画面)について



① 再生状態表示

- ▶ : 通常再生
- ▶▶ : 早送り
- ◀◀ : 早戻し
- || : 一時停止

② 再生時間表示

③ タイトル名表示

アーティスト名／トラック名／アルバム名

④ 音場表示

選択中の音場を表示します。[G-18]

※イコライザー設定中は [EQ] マークが表示されます。
[G-20]

⑤ リピート／シャッフル選択時に表示

※表示内容につきましては[G-12、G-14を
ご覧ください。



アドバイス

- アーティスト名／トラック名／アルバム名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
(本機は漢字・ひらがな・カタカナ対応しています。)
- アーティスト名／アルバム名が記録されていない場合は、“No Title”と表示されます。
- TOP画面のとき、タイトル名が表示しきれない場合タイトル名(アーティスト名／トラック名／アルバム名)をタッチしてスクロールさせ、続きを確認することができます。
※タイトル名が一巡します。またスクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- iPod本体で表示される～(半角波形表示)は、本機では－(ハイフン表示)となります。

1

▶|| (再生／一時停止) をタッチする。

：画面に **||** を表示し、音声が一時的に止まります。

■ 再び再生を始める場合

① 一時停止中に **▶|| (再生／一時停止) をタッチする。**

：画面に **▶** を表示し、再生を止めた続きから再生を始めます。



一時停止状態



リストより好きなトラックを選び再生させる

選曲画面(☞ K-9)で選択したボタン(全曲／アルバム／アーティスト／ポッドキャスト／ジャンル／プレイリスト／作曲家)のトラックをリストより選択再生させることができます。

1

リスト をタッチする。

：リスト画面が表示されます。

(例)iPodモード TOP画面



2

再生させたい曲(トラック)を選びタッチする。

：曲(トラック)の再生が始まります。

(例)iPodモード リスト画面



3

TOP画面に戻るには、**戻る** をタッチする。



アドバイス

⏮ / ⏭ を押して選曲することもできます。☞ G-10

再生させたい曲を絞り込んで検索することができます。

1

選曲 をタッチする。

：選曲画面が表示されます。

(例) iPod モード TOP 画面



2

選曲画面より選曲する方法(**全曲** / **アルバム** / **アーティスト** / **ポッドキャスト** / **ジャンル** / **プレイリスト** / **作曲家**)を選択する。

選曲画面



ハードディスク

- 選曲画面より選択した各ボタンに収録されている内容は、iPod本体に収録されている内容となります。
- iPodのデータが多くなるほど、各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- 選曲画面を選択する前に **戻る** をタッチするとTOP画面に戻ります。

■ **全曲** をタッチした場合

：全曲のトラックリスト表示とともにリスト一番上の曲が再生されます。

① 再生させたいトラックをタッチする。

(例) 全曲画面



：選択した曲(トラック)を再生します。

選曲モードより選択し再生させる

- **アルバム** をタッチした場合 : アルバムリスト画面が表示されます。

- ① 再生させたいアルバムをタッチする。 ② 再生させたいトラックをタッチする。

(例) アルバムリスト画面



すべて をタッチするとiPod内全曲のトラックリスト表示とともにリスト一番上の曲が再生されます。

: 選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともにリスト一番上の曲が再生されます。

(例) トラックリスト画面



: 選択した曲(トラック)を再生します。

- **アーティスト** をタッチした場合 : アーティストリスト画面が表示されます。

- ① 再生させたいアーティストをタッチする。 ② 再生させたいアルバムをタッチする。

(例) アーティストリスト画面



すべて をタッチするとiPod内の全アルバムが表示されます。 — さらに —

: 選択したアーティストのアルバムが表示されます。

(例) アルバムリスト画面



すべて をタッチするとiPod内全曲のトラックリスト表示とともにリスト一番上の曲が再生されます。

手順①で再生させたいアーティストをタッチして手順②で **すべて** をタッチした場合は選択したアーティストの全曲のトラックリスト表示とともにリスト一番上の曲が再生されます。

: 選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともにリスト一番上の曲が再生されます。

- ③ 再生させたいトラックをタッチする。

(例) トラックリスト画面



: 選択した曲(トラック)を再生します。

■ ポッドキャスト をタッチした場合

：ポッドキャスト画面が表示されます。

① 再生させたいポッドキャストをタッチする。

(例) ポッドキャスト画面



：選択したポッドキャストに収録されているリスト表示とともにリスト一番上のポッドキャストが再生されます。

② 再生させたいポッドキャストをタッチする。

(例) ポッドキャストリスト画面



：選択したポッドキャストを再生します。

■ ジャンル をタッチした場合

：ジャンルリスト画面が表示されます。

① 再生させたいジャンルをタッチする。

(例) ジャンルリスト画面



すべて をタッチするとiPod内の全アーティストが表示されます。さらに **すべて** をタッチするとiPod内の全アルバムが表示されます。さらに **すべて** をタッチするとiPod内の全曲のトラックリスト表示とともにリスト一番上の曲が再生されます。

▶ 手順④へ

：選択したジャンルに該当するアーティストが表示されます。

② 再生させたいアーティストをタッチする。

(例) アーティストリスト画面



すべて をタッチすると手順①で選択したジャンルに該当する全アルバムが表示されます。さらに **すべて** をタッチすると該当する全曲のトラックリスト表示とともにリスト一番上の曲が再生されます。

▶ 手順④へ

：選択したアーティストのアルバムが表示されます。

選曲モードより選択し再生させる

③ 再生させたいアルバムをタッチする。

(例) アルバムリスト画面



すべて をタッチすると手順②で選択したアーティストのトラックリスト表示とともにリスト一番上の曲が再生されます。

☞ 手順④へ

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともにリスト一番上の曲が再生されます。

④ 再生させたいトラックをタッチする。

(例) トラックリスト画面



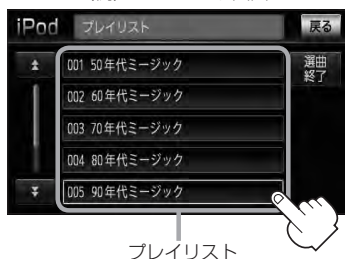
：選択した曲(トラック)を再生します。

■ プレイリストをタッチした場合

：プレイリスト画面が表示されます。

① 再生させたいプレイリストをタッチする。

(例) プレイリスト画面



：選択したプレイリストに収録されているトラックリスト表示とともにリスト一番上の曲が再生されます。

② 再生させたいトラックをタッチする。

(例) トラックリスト画面



：選択した曲(トラック)を再生します。

■ **作曲者** をタッチした場合

：作曲者リスト画面が表示されます。

- ① 再生させたい作曲者をタッチする。 ② 再生させたいアルバムをタッチする。

(例) 作曲者リスト画面



すべて をタッチすると iPod 内の全アルバムが表示されます。さらに **すべて** をタッチすると iPod 内全曲のトラックリスト表示とともにリスト一番上の曲が再生されます。

☞ 手順③へ

：選択した作曲者のアルバムが表示されます。

(例) アルバムリスト画面



すべて をタッチすると手順①で選択した作曲者に該当する全曲のトラックリスト表示とともにリスト一番上の曲が再生されます。

☞ 手順③へ

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともにリスト一番上の曲が再生されます。

- ③ 再生させたいトラックをタッチする。

(例) トラックリスト画面



：選択した曲(トラック)を再生します。

3

設定を終えるには、**戻る** または **選曲終了** をタッチする。

： **戻る** をタッチすると 1 つ前の画面に戻り、 **選曲終了** をタッチすると TOP 画面に戻ります。

K-14 映像データを再生させる

TV出力機能を備えたiPodの場合、iPodに収録されているビデオデータ(映像データ)を本機に表示させることができます。

※ビデオデータ(映像データ)を再生させるには、別売のVTRコードとiPod接続コードを接続し、USB接続ジャックに接続する必要があります。[P K-4

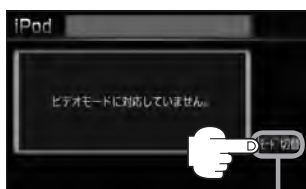
1

モード切替 をタッチする。



アドバース

ビデオモードに対応していないiPodの場合、映像は表示されません。



画面をタッチして操作ボタンを表示させ、**モード切替** をタッチしてミュージックモード(音楽再生のみ)に戻してください。
※操作ボタンが消えた場合は画面をタッチしてください。

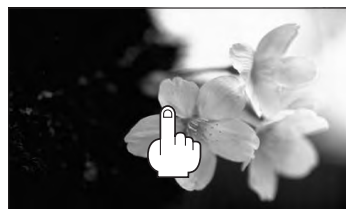
(例) iPodモード TOP画面



映像(例)



画面をタッチすると操作ボタンを表示させることができます。



* 印…画面に表示されている操作ボタンを消して映像のみ表示させたい場合は **切替** をタッチしてください。

※再び操作ボタンを表示させるには、画面をタッチします。



iPod本体に収録されている内容がリスト表示されます。再生させる場合はタッチしてください。

[P K-15

- ▶|| ボタン**……………再生を一時停止します。もう一度タッチすると再び再生が始まります。
- リピート ボタン**……………再生中の動画を繰り返し再生します。もう一度タッチするとリピート再生が解除されます。
- リスト ボタン**……………動画リストより選択し、再生させることができます。
 [左] 下記
- モード切替 ボタン**……………タッチするたびに音声再生のみと、映像ありのデータ再生への切り替えを行います。
- 画面サイズ ボタン**……………画面に表示される映像の大きさ(画面サイズ)を変更することができます。
 [左] 「画面サイズの変更をする」M-8手順 **3**

■ リスト をタッチした場合

① リストより再生させたい動画をタッチする。



：選択した動画が再生されます。

※さらにリストが表示される場合は選択を繰り返してください。



アドバース

- iPod本体から入力された映像と音声は **モード切替** をタッチして切り替えることにより見たり、聞いたりすることができます。
- TV出力機能がない、映像データがないなどのとき、画面は黒表示となります。
- TV出力の有無はiPod本体の取扱説明書またはiPodをお取り扱いの販売店でご確認ください。
- 走行中は安全のため映像は出力されません。iPod本体の操作はできません。
- 映像再生のとき、リストの各動画コンテンツ(情報の内容)ごとにリジューム情報(どこまで再生したか)をiPodがおぼえています。他のオーディオ画面に切り替えても再度映像再生にすると前回のつづき(再生位置)から再生が始まります。
- 車のエンジンスイッチをO(ロック)したり **モード切替** をタッチして切り替えると、再生していた曲は保持しないでリスト一番上の曲からの再生となります。
- アーティスト/アルバムなどのタイトルを登録していないビデオは選択(再生)できません。
- **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**終了** をタッチするとTOP画面に戻ります。



SD(SDカード)を使う

SDカードについて	L-2
再生可能なデータについて	L-4
各部の名称とはたらき	L-4
タッチパネル部について	L-4
表示部(再生画面)について	L-5
好きなフォルダを選ぶ	L-6
再生を一時停止する	L-7
リストより選曲する	L-8

L-2 SDカードについて

※本書ではSDメモリーカード／SDHCメモリーカードのことをSDカードと記載しております。

- SDHCロゴは商標です。
- SD、SDHCロゴはSD-3C、LLCの商標です。
- お客様がSDカードに保存されたデータは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっているデータに記録された“SDカード”は、著作権法の規定による範囲内で使用してください。
- 本機にはSDカードは付属しておりません。
※それぞれの規格に準じた市販品をお買い求めください。
- USB接続のカードリーダーに対応していません。
※SDカードを使用する場合は、本機に内蔵しているSDカードスロット(SDカード挿入口)を使用してください。
- 32GBまでの容量のSDカードに対応しています。
- 本機はCLASS2、CLASS4、CLASS6、CLASS10のSDHCカードに対応しています。
- 本機はSDXCカードには対応していません。
- 本機はUHS- Iには対応していません。
- 操作可能な機能と対応可能なSDカードの組み合わせは以下のとおりとなります。

機 能		SDカード (2GB以下)	SDHCカード (4GB以上)	miniSDカード (アダプター必要)	microSDカード (アダプター必要)
地点登録* [F] E-41		○	○	○	○
音楽データの再生 [F] C-35、L-4	MP3	○	○	○	○
	WMA	○	○	○	○
	AAC	○	○	○	○

*印…SDカードに保存したルートの本機で読み出し、ルート探索することができます。また、SDカードに保存した地点を本機に登録することもできます。

- ノーブランド品や廉価品、バルク品、模造品などのSDカードを使用すると、動作が不安定になったり認識しない可能性があります。国内メーカーから販売されている正規品のSDカードを使用してください。
- 256MB以上のSDカードの使用を推奨します。容量が少ないSDカードは正しく動作しない場合があります。
- SDカードに記録されているデータを本機で編集することはできません。
- フォーマット(初期化)について
SDカードのフォーマットは本機で行なってください。
[F] 「データを初期化(消去)する」F-64
※初期化により消失したデータは元に戻せません。十分に確認したうえで行なってください。
本機以外の機器で初期化した場合、本機で使用できない場合があります。本機で初期化を行ってから使用してください。
- 本機で再生するデータは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはSDカードの保存内容が失われる恐れがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。
- SDカードの書き込みが可能な状態で使用してください。

- 長時間使用しないときは本機から取り出してください。
- ゴミやほこり、そりなどをさけるため、必ずケースに入れて保管してください。
- 端子部には手や金属などで触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所での使用や保存はしないでください。
 - ・ 使用条件範囲以外の場所(炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど)
 - ・ 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
- microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、更にSDカードアダプターに装着して使用しないでください。
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターを使用し、正しい挿入方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に挿入すると、機器に不具合が生じることがあります。また、miniSDカード／microSDカードが取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き差しし、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。
- miniSDカード／microSDカードをminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターでご利用の際は正常に動作しない場合があります。
- SDカード挿入口に異物を入れないでください。SDカードを破損する原因になります。
- SDカードへのデータ書込中／読み込み中／音楽再生中にSDカードを抜かないでください。また、車のエンジンスイッチを変更しないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できません。
※音楽再生中の場合はモードを終了(OFF状態)にさせてから抜いてください。
- 静電気や電氣的ノイズを受けたり暖房器具の熱が直接あたる恐れのある場所に、SDカードを放置しないでください。データが破壊される恐れがあります。
- 本機内部を保護するため、異常が生じたときは自動的に本機の機能が止まります。
画面に出たメッセージに従って操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げのHonda販売店にご相談ください。
- SDカード内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。
- 長時間ご使用になったあと、SDカードがあたたかくなっている場合がありますが故障ではありません。
- SDカードには寿命があります。長期間使用すると書き込みや消去ができなくなる場合があります。
- SDカードが不良の場合、正常に動作しません。
- SDカードに誤消去防止スイッチ(LOCK)が付いている場合、「LOCK」にしていると書き込みまたは初期化(フォーマット)できません。「LOCK」を解除してください。

L-4 再生可能なデータについて

パソコンからSDカードにMP3／WMA／AAC形式で保存された音楽データを本機で再生することができます。

- 本機の再生仕様から外れる音楽ファイルは再生できません。
- MP3／WMA／AACは音声圧縮フォーマットです。

- MP3／WMAの規格につきましては「 J-3の表を参照、サンプリング周波数やビットレートにつきましては「 I-4、I-5を参照ください。
- AACの規格(サンプリング周波数／ビットレート／ファイル名など)につきましては「 「● AACの規格について」「● 音楽ファイルの再生について」「● 音楽ファイルのファイル名について」J-4を参照ください。

各部の名称とはたらき

タッチパネル部について

(例)SDモード TOP画面



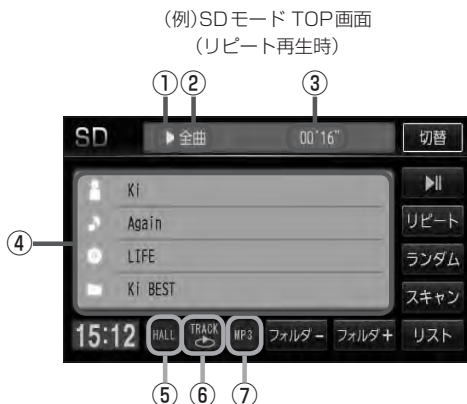
- ① **切替** ボタン
時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。
 G-15
- ② **▶||** ボタン(再生／一時停止)
再生中にタッチすると音声が一時的に止まります。
もう一度タッチすると再び再生が始まります。
 L-7
- ③ **リビート** ボタン
リビート(繰り返し)再生します。
 G-12
- ④ **ランダム** ボタン
ランダム(順序不同)再生します。
 G-13
- ⑤ **スキャン** ボタン
スキャン(曲の頭)再生します。
 G-14
- ⑥ **リスト** ボタン
リストを表示させ、トラックの選択が可能です。
 L-8
- ⑦ **フォルダー** ボタン
前のフォルダに戻ります。
 L-6
- ⑧ **フォルダー+** ボタン
次のフォルダに進みます。
 L-6



アドバイス

パネル部に配置されているボタンにつきましては G-2を参照してください。

表示部(再生画面)について



① 再生状態表示

- ▶：通常再生
- ▶▶：早送り
- ◀◀：早戻し
- ||：一時停止

② 全曲再生／フォルダ再生の状態を表示

③ 再生時間表示

④ タイトル名表示

アーティスト名／トラック名／アルバム名／
フォルダ名

⑤ 音場表示

選択中の音場を表示します。[G-18]

※イコライザー設定中は [ED] マークが表示されます。
[G-20]

⑥ リピート／ランダム／スキャン選択時に表示

※表示内容につきましては [G-12] を参照ください。

⑦ 再生ファイル表示

再生中のファイルを表示します。



アトハイス

- アーティスト名／トラック名／アルバム名／フォルダ名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
(本機は漢字・ひらがな・カタカナ対応しています。)

- アーティスト名／アルバム名が記録されていない場合は、"No Title" と表示されます。

- トラック名がない場合はファイル名を表示します。

- TOP画面のとき、タイトル名が表示しきれない場合タイトル名(アーティスト名／トラック名／アルバム名／フォルダ名)をタッチしてスクロールさせ、続きを確認することができます。

※タイトル名が一巡します。またスクロール中にタッチするとスクロールを止めます。

好きなフォルダを選ぶ

SDカードの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1

フォルダー / **フォルダ+** をタッチする。

■ 前のフォルダに戻る場合

① **フォルダー** をタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合

① **フォルダ+** をタッチする。

(例)SDモードTOP画面



1

▶|| (再生／一時停止) をタッチする。

：画面に **||** を表示し、音声が一時的に止まります。

■ 再び再生を始める場合

① 一時停止中に **▶||** (再生／一時停止) をタッチする。

：画面に **▶** を表示し、再生を止めた続きから再生を始めます。



一時停止状態



リストより選曲する

全曲リストまたはフォルダリストより再生させたい曲(トラック)を選択し、再生させることができます。

1

リスト をタッチする。

：リスト画面が表示されます。

(例)SDモードTOP画面



2

リスト内から再生させたい曲(トラック)を選び、タッチする。

■ フォルダリストから選ぶ場合

① **フォルダリスト** をタッチする。

選択中のリストの状態を表示



：フォルダリストが表示されます。

※すでにフォルダリストを表示させている場合は、手順①を省略することができます。

② フォルダリストから再生させたいフォルダをタッチする。

(例)フォルダリスト



：フォルダ内の曲がリスト表示され、リスト一番上の曲が再生されます。

③ 曲リストから再生させたい曲(トラック)をタッチする。

(例)曲リスト



■ 全曲リストから選ぶ場合

① 全曲リスト をタッチする。

選択中のリストの状態を表示



: SDカード内の全ての曲(トラック)が表示され、最初の曲が再生されます。

※すでに全曲リストを表示させている場合は、手順①を省略することができます。

② 再生させたい曲(トラック)をタッチする。

(例)全曲リスト画面



: 曲(トラック)の再生が始まります。

3

TOP画面に戻るには、戻る をタッチする。



SD



オーディオ

⏮ / ⏭ を押して曲(トラック)を選曲することもできます。 [G-10]

M

DVDを見る

DVDビデオについて	M-2
ディスクに表示されているマークについて	M-2
VRモードで作成したディスクについて	M-3
ディスクの構成について	M-3
各部の名称とはたらき	M-4
タッチパネル部について	M-4
DVDプレーヤーを使う	M-6
再生を停止する	M-7
画面サイズの変更をする	M-8
再生を一時停止(静止)する	M-9
再生中にチャプターを戻す／進める	M-9
コマ戻し／コマ送りをする	M-10
スロー戻し／スロー送りをする	M-11
DVDメニューを使う	M-12
タイトルメニューを使う	M-14
好きな所から再生する(サーチ選択)	M-16
音声言語／字幕言語を切り替える	M-18
時間の表示を替える	M-19
リピート(繰り返し)再生する	M-20
アングル(角度)を切り替える	M-21
VRモードディスク内の映像を リストより選択し再生させる	M-22
DVDの初期設定について	M-24
初期設定を変更する	M-24



本機のリージョン番号(地域番号)は「2」です。

(例)



DVDには世界中を6つの地域に区分したリージョン番号という地域番号があり、DVDソフトの番号とDVDプレーヤーの番号が一致しないと再生できない仕組みになっています。本機では、リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」以外のDVDビデオディスクは、再生できません。



アドバンス

- リージョン番号が「ALL」のディスクは、地域制限されておらず、全てのリージョン番号のDVDプレーヤーで再生できます。
- リージョン番号が表示されていないディスクについては、表示はしていないがリージョン番号がついており、同じリージョン番号のDVDプレーヤーのみで再生できる場合と、地域制限されておらず、全てのリージョン番号のDVDプレーヤーで再生できる場合があります。
- リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」でも、NTSC以外のカラーテレビ方式で収録されている場合は、本機では再生できません。

本機は、DVDビデオの再生において、下記の3つの技術を使用しています。

●マクロビジョン

本機は、ロヴィコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はロヴィコーポレーションの許諾が必要であり、ロヴィコーポレーションの許可なしでは、一般家庭または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっていきます。改造または分解は禁止されています。

●ドルビーデジタル

本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

●dts



Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS and the Symbol are registered trademarks, & DTS 2.0 Channel and the DTS logos are trademarks of DTS, Inc. Product includes software. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

ディスクに表示されているマークについて

DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには下記のものがあります。(例)

マーク (例)	意味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
	選択可能な画像アスペクト比 (TV画面の横と縦の比率) を表します。 ●「16 : 9」はワイド画面、「4 : 3」は標準画面です。
	再生可能な地域番号を表します。 ●ALLは全世界向け、数字は地域番号です。「2」は日本を示します。

本機は、DVDビデオの高画質映像と高音質なデジタルサウンドを再生することができます。また、DVDビデオに記録されている複数の言語(音声や字幕など)を切り替えて表示することができます。

VRモードで作成したディスクについて

本機ではDVD-R/RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたディスクを再生することができます。また、デジタル放送を記録したディスクの再生は、CPRM対応のDVD-R/RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたものに限り再生が可能です。(下記表参照)

※ファイナライズ処理が必要な場合があります。(書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。)未ファイナライズ処理のDVD-R/DVD-R DLのVRモードには対応していません。

※タイトル(映像)の一部を編集したり消去されたディスクの場合、操作によっては正常に再生できない場合があります。

DVD再生ディスク対応一覧表

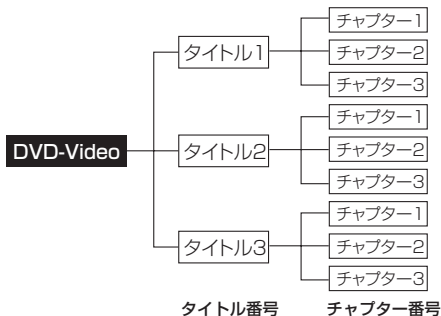
メディアの種類 (記録方式) 録画映像の種類	DVD-RW (VRモード) CPRM対応	DVD-RW (VRモード) CPRM非対応	DVD-R(Videoモード) DVD-RW(Videoモード) DVD+R(Videoモード) DVD+RW(Videoモード) DVD-R DL(Videoモード) DVD+R DL(Videoモード)	DVD-R DVD-R DL (VRモード) CPRM対応	DVD-R DVD-R DL (VRモード) CPRM非対応	DVD-RAM	CD-R CD-RW
録画制限なし	○	○	○	○	○	×	×
録画制限あり	○	—	—	○	—	×	×
録画禁止	×	×	×	×	×	×	×

—：記録できないディスク

×

*印…ディスクの作成方法によっては再生できることがあります。(映像が乱れるなどの可能性があります。)

ディスクの構成について



DVDに収録されている映像や曲は、通常いくつかの区切りに分けられています。

大きく分けた区切りをタイトルと言い、それぞれのタイトルには番号(タイトル番号)が付けられています。また、タイトルは小さな区切りのチャプターで構成されており、それぞれのチャプターにも番号(チャプター番号)が付けられています。

M-4 各部の名称とはたらき

タッチパネル部について

操作ボタン1 表示画面



① **メニュー** ボタン

DVDビデオ再生中にタッチすると、DVDメニュー画面になります。【P M-12

※ VRモードディスク再生中にタッチすると、プレイリストが表示されます。【P M-22、M-23

② **タイトル** ボタン

DVDビデオ再生中にタッチすると、タイトルメニュー画面になります。【P M-14

※ VRモードディスク再生中にタッチすると、タイトルリストが表示されます。【P M-22、M-23

③ **音声** ボタン

DVDビデオ再生中に、タッチすることによってディスクに収録されている音声言語リストの中で、音声言語が切り替わります。【P M-18

※ VRモードディスク再生中にタッチすると音声 ch が切り替わります。

④ **字幕** ボタン

DVDビデオ再生中に、タッチすることによってディスクに収録されている字幕言語リストの中で、字幕言語が切り替わります。【P M-18

⑤ **アングル** ボタン

DVDビデオ再生中に、タッチすることによってアングルが切り替わります。【P M-21

⑥ **リジューム** ボタン

DVDビデオ再生中にメニュー画面を表示させた後、このボタンをタッチすると、メニュー画面を表示させる前のところより再生(リジューム再生)を行いません。【P M-13、M-15

※ パネル部に配置されているボタンにつきましては【P G-2を参照してください。

(例) 停止画面



⑦ **次へ** ボタン

操作ボタン2の画面を表示します。

⑧ **画面サイズ** ボタン

画面サイズ(ノーマル/フル/ワイド/シネマ)を選択することができます。

【P M-8

⑨ **■** ボタン(停止)

再生中にタッチすると、再生をやめ、停止画面を表示します。【P M-7

⑩ **▶||** ボタン(再生/一時停止)

再生中にタッチすると、映像・音声が一時的に止まります。もう一度タッチすると再び再生が始まります。

【P M-9

⑪ **ボタン消** ボタン

画面に表示される操作ボタンを消します。

※ **ボタン消** をタッチしなくても約15秒間何も操作しなかった場合、操作ボタンは消えます。

⑫ **DVD設定** ボタン

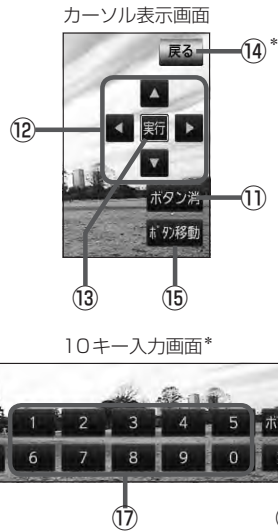
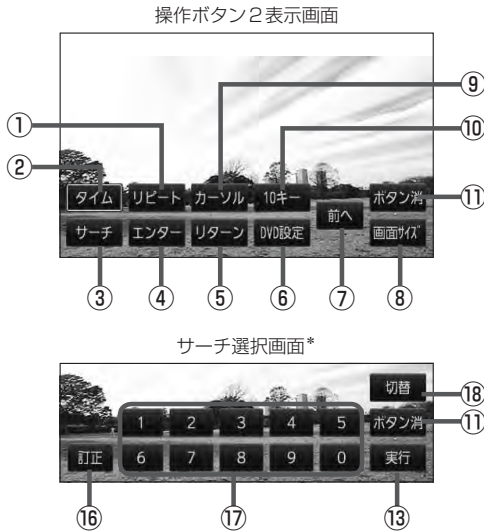
DVD設定画面を表示します。【P M-24

⑬ **続き再生解除** ボタン

続きメモリー機能を解除します。【P M-7

⑭ **▶||** ボタン(再生)

再生を始めるときに使用します。【P M-7



① リピート ボタン

タッチすることによりリピートモードが切り替わります。
 [P M-20]

② タイム ボタン

再生の時間を表示します。[P M-19]

③ サーチ ボタン

チャプター、タイトル、タイムのサーチ選択画面を表示します。[P M-16]

④ エンター ボタン

画面で選んだ項目を実行します。

⑤ リターン ボタン

DVDメニュー画面操作時に1つ前の画面に戻ります。
 ※ディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。

⑥ DVD設定 ボタン

DVD設定画面を表示します。[P M-24]

⑦ 前へ ボタン

操作ボタン1の画面を表示します。

⑧ 画面サイズ ボタン

画面サイズ(ノーマル/フル/ワイド/シネマ)を選択することができます。[P M-8]

⑨ カーソル ボタン

カーソルキーを表示させ、画面で項目を選ぶときに使用します。(カーソル表示画面)
 [P M-12、M-14]

⑩ 10キー ボタン

10キー入力画面を表示させ、数字を入力するときに使用します。

⑪ ボタン消 ボタン

画面に表示される操作ボタンを消します。

※ ボタン消 をタッチしなくても約15秒間何も操作しなかった場合、操作ボタンは消えます。

⑫ ▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタン(カーソルキー)

項目を上下左右選択します。

⑬ 実行 ボタン

画面で選んだ項目を実行(決定)します。

⑭ 戻る ボタン*

操作ボタン2表示画面を表示します。

* 印…サーチ選択画面/10キー入力画面にも
 戻る は表示されます。

⑮ ボタン移動 ボタン

カーソル表示を画面の左側または右側へ移動します。

⑯ 訂正 ボタン

10キーボタンで入力した数字を訂正するときに使用します。

⑰ 0 ~ 9 ボタン(10キー)

数字を入力するときに使用します。

⑱ 切替 ボタン

サーチモードを切り替えます。[P M-16]



映像は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみご覧になることができます。
(走行中は音声のみになります。)

画面にDVDメニューまたはタイトルメニューが表示されたとき

DVDメニューまたはタイトルメニュー画面が表示された場合は、下記の2つの操作方法があります。

■ 画面のメニュー項目を直接タッチする。

※ディスクによっては操作できない場合があります。

※操作ボタンが表示されている場合は項目を選択できません。**ボタン消**をタッチして操作ボタンを消してください。



■ カーソルを表示させ項目を選択する。

① **MENU** を押す。

: 操作ボタン1表示画面が表示されます。



② **次へ** → **カーソル** をタッチする。

: カーソル表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



操作ボタン2表示画面



③ **▲ ▼ ◀ ▶** (カーソルキー) をタッチして項目を選択し、**実行** をタッチする。

▶ 「**DVDメニューを使う**」M-12の手順 **4** を参考にしてください。

: 選択した項目が再生されます。

※操作ボタンの表示を止めるには **ボタン消** をタッチしてください。

※ディスクによっては操作できない場合があります。

※その他の操作につきましてはそれぞれのページを参照してください。

再生を停止する

1

画面をタッチするか、**MENU**を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2

■ (停止)をタッチする。：再生を止め、停止画面が表示されます。
(続きメモリー機能が働きます。)

続きメモリー機能

- 再生中に**■ (停止)**をタッチすると、本機は、再生を止めた位置をメモリーします。これを続きメモリー機能と呼びます。この機能が働いている間は、画面に“▶||”ボタンで続きから再生します”と表示し、映像／音声を止めます。**▶|| (再生)**をタッチすると、再生を止めた続きから、再生が始まります。
- 続きメモリー機能は、**続き再生解除**をタッチするかディスクジェクト(取り出す)操作で解除されます。ただし、同じディスクを再挿入すると続きメモリー機能が働きます。
※ **DVD設定**をタッチした場合も続きメモリーは解除されます。[P. M-24]

映像
DVD

3

再び再生を始めるには、

▶|| (再生)をタッチする。：続きメモリー機能が働いている場合は、再生を止めた続きから再生します。
続きメモリー機能が働いていない場合は、ディスクの最初から再生します。

停止画面



アドバース

ディスクの最初から再生したい場合は手順**3**(停止画面)のとき**続き再生解除**をタッチし、**▶|| (再生)**をタッチします。

画面サイズの変更をする

再生中の画面のサイズ(ノーマル/フル/ワイド/シネマ)を変更することができます。

1 画面をタッチするか、**MENU** を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



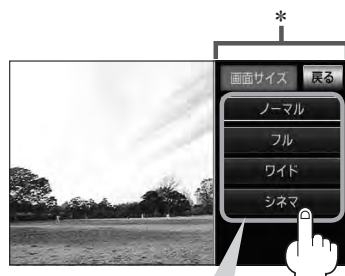
2 **画面サイズ** をタッチする。

：画面サイズ選択画面が表示されます。



3 設定したい画面サイズ(**ノーマル** / **フル** / **ワイド** / **シネマ**)をタッチする。

：選択した画面サイズで表示されます。



- ノーマル : 4 : 3 の映像の画面
- フル : 4 : 3 の映像を左右に引き伸ばし、16 : 9 にした画面
- ワイド : "フル" の違和感を少なくした画面
- シネマ : 4 : 3 の映像をそのまま拡大した画面



アドバース

- **シネマ** を選択した場合映像を拡大して表示するため、映像の上下が画像が切れて見えなくなることがあります。
- * 印…何も操作しなかった場合、選択画面は約20秒間表示されます。

再生を一時停止(静止)する

1 画面をタッチするか、**MENU**を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 **II** (再生／一時停止)をタッチする。

：画面に“**II**”を表示し、映像を一時停止します。
(音声も止まります。)

一時停止アイコン



3 再び再生を始めるには、

II (再生／一時停止)をタッチする。

：再生を止めた続きから再生します。

4 画面の操作ボタンの表示を消すには、**ボタン消**をタッチする。

再生中にチャプターを戻す／進める

1 **II** / **II** (スキップ)を押す。

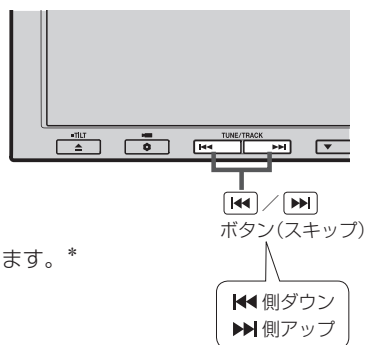
：前のチャプターに戻る、または次のチャプターに進みます。

■ 前のチャプターに戻る場合

① **II** を2回押す。

※ 1回押した場合は再生中のチャプターの頭に戻ります。*

■ 次のチャプターに進む場合

① **II** を押す。

アドバンス

*印…チャプター再生開始から3秒以内に押した場合は、前のチャプターの頭に戻ります。

●チャプターとは、DVDビデオに収録されている音声や映像の小さな区切りです。

●ディスクによっては、この機能を禁止しているものもあります。

●ボタンを押し続けると早戻し／早送りします。[G-11]

コマ戻し／コマ送りをする

1 画面をタッチするか、**MENU**を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 **▶▶** (再生／一時停止)をタッチする。

：画面に "**▶▶**" を表示し、映像を一時停止します。
(音声も止まります。)

3 **◀◀**／**▶▶** (スキップ)を押す。

■ コマ戻しをする場合

① **◀◀**を押す。

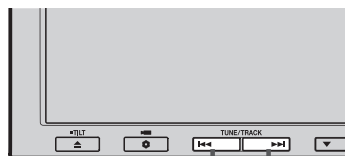
：押すごとに映像を1コマずつ戻します。

■ コマ送りをする場合

① **▶▶**を押す。

：押すごとに映像を1コマずつ送ります。

※通常再生をするには **▶▶** (再生／一時停止)をタッチします。



◀◀／**▶▶** ボタン(スキップ)

4 画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消**をタッチする。

アドバンス

この操作中音声は出ません。また、ディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。

スロー戻し／スロー送りをする

1 画面をタッチするか、**MENU**を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 **▶▶** (再生／一時停止)をタッチする。

：画面に "**■**" を表示し、映像を一時停止します。
(音声も止まります。)

3 **◀◀**／**▶▶** (スキップ)を押し続ける。

■ スロー戻しをする場合

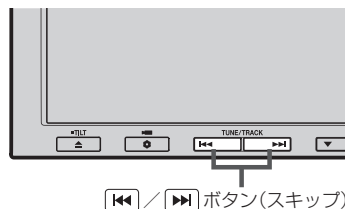
① **◀◀**を押し続ける。

：スロー戻しで戻ります。

■ スロー送りをする場合

① **▶▶**を押し続ける。

：スロー送りで進みます。



◀◀／**▶▶** ボタン(スキップ)

映像
DVD

※それぞれ、ボタンから手を離れたところで通常再生を始めます。

4 画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消**をタッチする。

アドハイス

この操作中音声は出ません。また、ディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。

DVDメニューを使う

DVDビデオによっては、DVDメニューが収録されているものがあります。
この場合は、DVDメニューを使って、好きなシーンを選んで再生することができます。

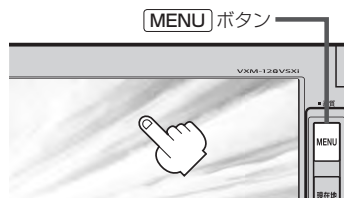


下記手順 **4** のようにカーソルを表示しなくても画面に表示されたメニュー項目をタッチして、ダイレクトに項目を選ぶことができます。(その場合は、**ボタン消** をタッチして操作ボタンを消してください。)

※ディスクによっては操作できない場合があります。

1 画面をタッチするか、**MENU**を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2 **メニュー** をタッチする。

：DVDメニューが表示されます。

※VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合はプレイリストが表示されます。
(**EP** M-23)

操作ボタン1表示画面

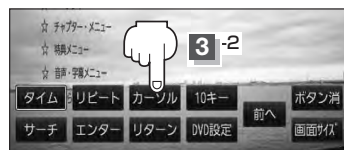


3 **次へ** をタッチし操作ボタン2表示画面を表示させ、**カーソル** をタッチする。

：カーソル表示画面が表示されます。



操作ボタン2表示画面



カーソル表示画面

4 **▲▼◀▶** (カーソルキー) をタッチして項目を選び、**実行** をタッチする。

：選んだ項目(シーン)の再生が始まります。

※さらに選択画面が続く場合は、
手順 **4** を繰り返してください。

ボタン移動 をタッチするたびにカーソル表示が画面の右または左へ移動します。



カーソル表示

カーソル表示

5

画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチする。



アドバンス

- ディスクによっては、DVDメニューが収録されていないものもあります。
- DVDメニューはディスクに収録されているため、内容はディスクによって異なりますが、例えば、音声言語／字幕言語／チャプターの選択をしたり、映画解説を再生するなどの操作ができます。
※ VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合プレイリストから字幕や音声を変えることはできません。
- ディスクによっては「DVDメニュー」のことを「メニュー」、「実行」のことを「決定」／「選択」と表示しているものもあります。
- 再生するDVDビデオに付属されている説明書も、あわせてお読みください。

■ DVDメニューの操作を終わる／途中で止める場合(リジューム再生)

① 操作ボタン1を表示させる。

※操作ボタン2やカーソルが表示されている場合は

前へ や **戻る** をタッチしてください。

※操作ボタンの表示が消えているときは、画面をタッチするか、**MENU** を押してください。



② **リジューム** をタッチする。

：DVDメニュー(またはプレイリスト)が表示される前の場面の続きから、再生を始めます。

※画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチしてください。

※ディスクによっては、続きから再生できないものもあります。詳しくは、再生するディスクに付属されている説明書をお読みください。



タイトルメニューを使う

複数のタイトルに分かれているDVDビデオによっては、タイトルメニューが収録されているものがあります。この場合は、タイトルメニューを使って、好きなシーンを選んで再生することができます。※タイトルとは、DVDビデオに収録されている映像や音声の大きな区切りのことです。



下記手順 **4** のようにカーソルを表示しなくても画面に表示されたメニュー項目をタッチして、ダイレクトに項目を選ぶことができます。(その場合は、**ボタン消** をタッチして操作ボタンを消してください。)

※ディスクによっては操作できない場合があります。

1

画面をタッチするか、**MENU** を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2

タイトル をタッチする。

：タイトルメニューが表示されます。

※VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合はタイトルリストが表示されます。
(▶▶ M-23)



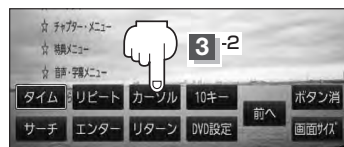
3

次へ をタッチし操作ボタン2表示画面を表示させ、**カーソル** をタッチする。

：カーソル表示画面が表示されます。



操作ボタン2表示画面



4

▲▼◀▶ (カーソルキー) をタッチして項目を選び、**実行** をタッチする。

：選んだタイトルのメニューに収録されているシーンの再生が始まります。

※さらに選択画面が続く場合は、手順 **4** を繰り返してください。

ボタン移動 をタッチするたびにカーソル表示が画面の右または左へ移動します。



5

画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチする。



アドバイス

- ディスクによっては、タイトルメニューが収録されていないものもあります。
- タイトルメニューはディスクに収録されているため、内容はディスクによって異なりますが、例えば、音声言語／字幕言語／チャプターを選択をしたり、映画解説を再生するなどの操作ができます。
※ VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合タイトルリストから字幕や音声を変えることはできません。
- ディスクによっては「タイトルメニュー」のことを「メニュー」／「タイトル」、「実行」のことを「決定」／「選択」と表示しているものもあります。
- 再生するDVDビデオに付属されている説明書も、あわせてお読みください。

■ タイトルメニューの操作を終わる／途中で止める場合(リジューム再生)

① 操作ボタン1を表示させる。

※操作ボタン2やカーソルが表示されている場合は

前へ や **戻る** をタッチしてください。

※操作ボタンの表示が消えているときは、画面をタッチするか、**MENU** を押してください。



② **リジューム** をタッチする。

：タイトルメニュー(またはタイトルリスト)が表示される前の場面の続きから、再生を始めます。

※画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチしてください。

※ディスクによっては、続きから再生できないものもあります。詳しくは、再生するディスクに付属されている説明書をお読みください。



好きな所から再生する(サーチ選択)

タイトル、チャプターおよび経過時間を入力すると、そこから再生を始めます。

1

画面をタッチするか、**MENU**を押す。

: 操作ボタン1表示画面が表示されます。



2

次へをタッチする。

: 操作ボタン2表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面

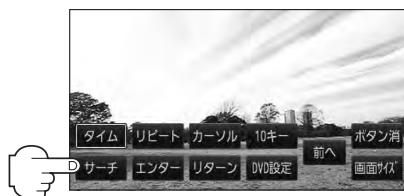


3

サーチをタッチする。

: サーチ選択画面が表示されます。

操作ボタン2表示画面



4

サーチ選択画面で **0** ~ **9** (10キー) をタッチして、再生したいチャプター／タイトル／タイム(経過時間)サーチを入力する。

- タイトル、チャプター、タイム(経過時間)は **切替** をタッチし切り替えて入力します。

チャプターサーチ → タイトルサーチ
 (サーチ解除) ← タイムサーチ ←

サーチ選択画面(例)

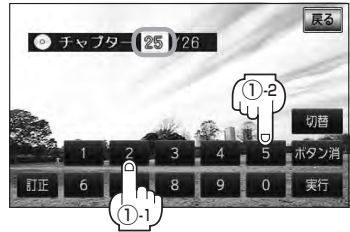


モード表示 **0** ~ **9** ボタン(10キー)

例 チャプター番号“25”を入力する場合

- ① 10キーを **2**、**5** とタッチする。

: 表示が“25”となります。

**例** タイム(経過時間)入力で“15分目”を再生する場合

- ① 手順 **4** でサーチ選択画面を表示させたとき **切替** をタッチする。

: タイム(経過時間)入力画面になります。

- ② 10キーを **0**、**0**、**1**、**5**、**0**、**0** とタッチする。

: 表示が **--:--:--** → **00:15:00** となります。

**5**

実行 をタッチする。

: 入力したチャプター番号／タイトル番号／タイム(経過時間)から再生を始めます。

チャプター番号25を入力した場合(例)



映像
DVD

6

画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチする。



アドバンス

- 約10秒間、何も操作をしなかった場合、モード表示は消えて、この操作を終了してしまいます。その場合は、**切替** をタッチし、もう一度手順 **4** (LP M-16) からやりなおしてください。
- 数字の入力はモード表示が表示されている時のみ有効です。
- 間違った数字を入力した場合は、サーチモードが解除されますので、**切替** をタッチし、もう一度手順 **4** (LP M-16) からやりなおしてください。
- ディスクに収録されていないチャプター／タイトル／タイム(経過時間)サーチを入力すると、この操作は解除となります。
- ディスクによっては、この機能を禁止しているものもあります。

音声言語／字幕言語を切り替える

ディスクによっては複数の音声言語／字幕言語が収録されているものもあります。この場合は下記に従って言語を選ぶことができます。

1 画面をタッチするか、**MENU** を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2 音声 または 字幕 をタッチする。

：タッチすることにより、ディスクに収録されている音声言語リストまたは字幕言語リストの中で、音声言語／字幕言語が切り替わります。

操作ボタン1表示画面



音声言語リスト(例)



字幕言語リスト(例)



3 画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチする。



アドバイス

- ディスクによっては、字幕を変更したり消したりすることを禁止しているものもあります。
- 音声言語／字幕言語は、DVDメニュー(📖 M-12)や言語設定(📖 M-26)でも切り替えられます。
- ディスクによっては、上記(手順 **1**、**2**)の操作では、音声言語／字幕言語の切り替えができないものもあります。この場合は、DVDメニュー(📖 M-12)または言語設定(📖 M-26)で切り替えてください。

時間の表示を替える

画面に表示する時間の種類を選ぶことができます。

- T(現在のタイトル)／C(チャプター情報)
- タイトル時間 タイトルの経過時間を表示
- タイトル残り時間 タイトルの残時間を表示
- チャプター時間 チャプターの経過時間を表示
- チャプター残り時間 チャプターの残時間を表示
- DISPLAY OFF 何も表示しない

1 画面をタッチするか、**MENU**を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



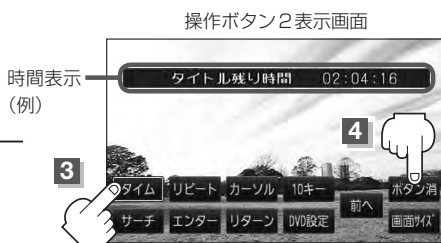
2 **次へ**をタッチする。

：操作ボタン2表示画面が表示されます。



3 **タイム**をタッチする。

：タッチすることにより時間表示が切り替わります。



4 画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消**をタッチする。

■ 時間表示をやめる場合

上記手順 **1** ～ **3** に従って操作し、“DISPLAY OFF”を選ぶ。

リピート(繰り返し)再生する

再生中のチャプター／タイトルを繰り返すことができます。

- チャプターリピート 再生中のチャプターを繰り返す
- タイトルリピート 再生中のタイトルを繰り返す
- リピートOFF リピート再生しない

※ディスクによっては、リピートの種類を選んでも、リピート再生ができないものもあります。

1 画面をタッチするか、**MENU**を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



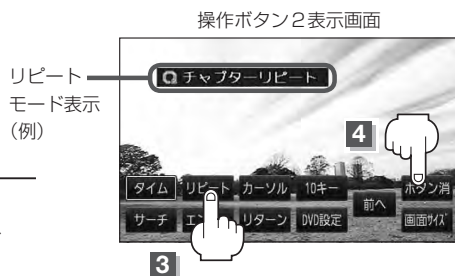
2 **次へ**をタッチする。

：操作ボタン2表示画面が表示されます。



3 **リピート**をタッチする。

：タッチすることによりモードが切り替わります。



4 画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消**をタッチする。

■ 通常の再生に戻る場合

上記手順 **1** ～ **3** に従って操作し、“リピートOFF”を選ぶ。

アングル(角度)を切り替える

ディスクによっては、複数のアングルで収録されているもの(マルチアングル収録)もあります。
この場合は、好きなアングルに切り替えて見ることができます。

1 画面をタッチするか、**MENU**を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2 **アングル**をタッチする。

：タッチすることによりアングルが切り替わります。

操作ボタン1表示画面



3 画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消**をタッチする。



アドバンス

- マルチアングル映像が収録されていないディスクでは、“アングル”を選ぶことはできません。
- 収録されている総アングル数は、ディスクによっても、場面によっても異なります。

VRモードディスク内の映像をリストより選択し再生させる

DVD-R/RW、DVD-R DL(DVDビデオレコーディングモード)に登録したタイトル名を各リストより選択し再生させることができます。

1 画面をタッチするか、**MENU**を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2 タイトルリストまたはプレイリストを表示させる。

■ タイトルリストより選択する場合

① **タイトル**をタッチする。

：タイトルリストが表示されます。



■ プレイリストより選択する場合

① **メニュー**をタッチする。

：プレイリストが表示されます。



アドバンス

タイトルリストとは録画されたままの映像(情報)で編集されていないもの、プレイリストとは録画された映像(情報)をお好みの順に編集したものをあらわします。

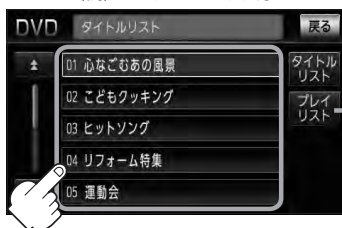
※タイトル名はDVDレコーダーで編集することができます。タイトルリスト／プレイリストの詳細につきましてはDVDレコーダーの取扱説明書を参照してください。

3

リストより再生させたいタイトル名をタッチする。

：選択した項目が選択されます。

(例)タイトルリスト表示



タイトルリスト表示のとき **プレイリスト** をタッチするとプレイリストを表示します。

(例)プレイリスト表示



プレイリスト表示のとき **タイトルリスト** をタッチするとタイトルリストを表示します。



アドバイス

- VRモードディスクにプレイリストがない場合、手順 **2** (P. M-22) で **メニュー** をタッチしてもプレイリストは表示されません。
- タイトルリストまたはプレイリストの操作を途中で終わる場合(リジューム再生する場合)は **戻る** をタッチしてください。
- VRモードディスク再生中に操作ボタン1の **音声** をタッチすると、音声chを切り替えることができます。

初期設定を変更する

再生中または再生停止中にDVDの初期設定を変更することができます。

1 画面をタッチするか、**MENU**を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



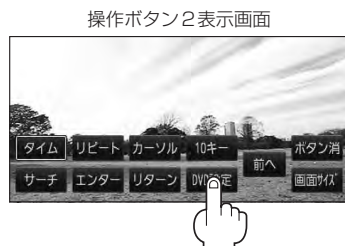
2 次へ をタッチする。

：操作ボタン2表示画面が表示されます。



3 DVD設定 をタッチする。

：DVD設定画面が表示されます。



アドハイス

■ (停止) をタッチして再生停止中に **DVD設定** をタッチしてDVDの初期設定を変更することもできます。

操作ボタン1表示画面



停止画面



DVD設定 ボタン

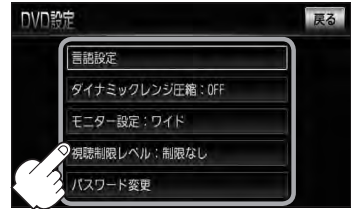
※ **DVD設定** を選択した場合、続きメモリー機能は解除され、ディスクの先頭からの再生となります。

4

画面の設定したい項目(**言語設定** ／
ダイナミックレンジ圧縮 ／ **モニター設定** ／
視聴制限レベル ／ **パスワード変更**)を
 タッチする。

：選択した項目の設定画面が表示されます。

DVD 設定画面



選んだ項目	設定できる内容	操作手順
言語設定	● 音声言語 ：DVDビデオ再生時の音声言語の切り替え ● 字幕言語 ：DVDビデオ再生時の字幕言語の切り替え ● メニュー言語 ：DVDメニューの表示言語の切り替え	☞ M-26
ダイナミックレンジ圧縮	● DVDビデオ再生時、小さい音量でも迫力のある音にすることができます。(ドルビーデジタルの音声のみ)	☞ M-29
モニター設定	● TVアスペクト ：DVDビデオ再生時の画像のアスペクト比の切り替え	☞ M-29
視聴制限レベル	● レベル ：視聴制限レベルの設定	☞ M-30
パスワード変更	● パスワード ：視聴制限レベルの設定を他の人が変えられないようにするためのパスワードの変更	☞ M-31

映像
DVD



アドバース

- 設定した内容は変更しない限り保持されます。(電源を切っても保持されます。)
- ディスクによっては初期設定を変更しても切り替えができないものもあります。
この場合はDVDメニュー(☞ M-12)で切り替えてください。
- 各設定画面のとき1つ前の選択画面に戻る場合や、設定を終わったり途中で止める場合は **戻る** をタッチしてください。
※停止画面のとき再び再生させる場合は **▶II** (再生) をタッチしてください。(ディスクの先頭から再生します。)



■ 手順 4 (M-25)で“言語設定”を選んだ場合

5 音声言語／字幕言語／メニュー言語の変更 したい項目をタッチする。

“音声言語” ……DVDビデオ再生時に優先したい音声言語を切り替えることができます。

“メニュー言語” ……DVDビデオ再生時に優先したいメニュー言語を切り替えることができます。

“字幕言語” ……DVDビデオ再生時に優先したい字幕言語の切り替えができます。



設定されている言語を表示
(ここをタッチすると言語コード
入力画面(下記)を表示)
ただし、言語が**オリジナル**または
OFF に設定されている場合は
言語を選択 と表示されます。

□ 言語を変更するには

: 選択した言語の言語コード入力画面が表示されます。

- ① 言語コード表(M-28)を参照し、
言語コードの数字を **0** ~ **9**
(10キー)をタッチして入力する。



- ② 入力が終わったら **決定** をタッチする。



■ 言語設定を初期値に戻す場合

言語設定画面で **初期値** をタッチする。



：変更した言語設定が初期値に戻ります。



アドバイス

- DVD設定をすると続きメモリー機能は解除され、ディスクの先頭からの再生となります。
- 間違った言語コードを入力すると“入力された言語コードが間違っています”と表示されます。再度正しいコードを入力しなおしてください。
- 入力した数字を訂正するときは **クリア** をタッチして数字を再入力してください。
- 工場出荷時の言語は“JA(日本語)”に設定されています。
- **オリジナル** を選んだ場合は、再生するディスクで優先されている言語で再生されます。
- “字幕言語”のとき、優先する字幕言語を **OFF** にした場合は字幕が表示されません。
- 前画面へ戻る場合は、**戻る** をタッチしてください。
- ディスクによっては設定された通りに再生しないものもあります。

言語コード表

コード	言語	コード	言語	コード	言語
1027	AA アファル語	1239	IE 国際語	1482	RN キルンディ語
1028	AB アブバシア語	1245	IK Inupiak 語	1483	RO ルーマニア語
1032	AF アフリカーンス語	1248	IN インドネシア語	1489	RU ロシア語
1039	AM アムハラ語	1253	IS アイスランド語	1491	RW キニヤルワンダ語
1044	AR アラビア語	1254	IT イタリア語	1495	SA サンスクリット語
1045	AS アッサム語	1257	IW ヘブライ語	1498	SD シンド語
1051	AY アイマラ語	1261	JA 日本語	1501	SG サンゴ語
1052	AZ アゼルバイジャン語	1269	JI イディッシュ語	1502	SH セルビアクロアチア語
1053	BA バンキール語	1283	JW ジャワ語	1503	SI シンハラ語
1057	BE ベラルーシ語	1287	KA グルジア語	1505	SK スロバキア語
1059	BG ブルガリア語	1297	KK カザフ語	1506	SL スロベニア語
1060	BH ビハーリー語	1298	KL グリーンランド語	1507	SM サモア語
1061	BI ビスマラ語	1299	KM カンボジア語	1508	SN ショナ語
1066	BN ベンガル、バングラ語	1300	KN カンナダ語	1509	SO ソマリ語
1067	BO チベット語	1301	KO 韓国語	1511	SQ アルバニア語
1070	BR ブルトン語	1305	KS カシミール語	1512	SR セルビア語
1079	CA カタロニア語	1307	KU クルド語	1513	SS シスワティ語
1093	CO コルシカ語	1311	KY キルギス語	1514	ST セストゥ語
1097	CS チェコ語	1313	LA ラテン語	1515	SU スンダ語
1103	CY ウェールズ語	1326	LN リンガラ語	1516	SV スウェーデン語
1105	DA デンマーク語	1327	LO ラオス語	1517	SW スワヒリ語
1109	DE ドイツ語	1332	LT リトアニア語	1521	TA タミール語
1130	DZ ブータン語	1334	LV ラトビア、レット語	1525	TE テルグ語
1142	EL ギリシャ語	1345	MG マダガスカル語	1527	TG タジク語
1144	EN 英語	1347	MI マオリ語	1528	TH タイ語
1145	EO エスペラント語	1349	MK マケドニア語	1529	TI ティグリニャ語
1149	ES スペイン語	1350	ML マラヤーラム語	1531	TK トゥルクメン語
1150	ET エストニア語	1352	MN モンゴル語	1532	TL タガログ語
1151	EU バスク語	1353	MO モルダビア語	1534	TN セツワナ語
1157	FA ペルシャ語	1356	MR マラータ語	1535	TO トンガ語
1165	FI フィンランド語	1357	MS マレー語	1538	TR トルコ語
1166	FJ フィジー語	1358	MT マルタ語	1539	TS ツォンガ語
1171	FO フェロー語	1363	MY ミャンマ語	1540	TT タタール語
1174	FR フランス語	1365	NA ナウル語	1543	TW トウィ語
1181	FY フリジア語	1369	NE ネパール語	1557	UK ウクライナ語
1183	GA アイルランド語	1376	NL オランダ語	1564	UR ウルドゥー語
1186	GD スコットランドゲール語	1379	NO ノルウェー語	1572	UZ ウズベク語
1194	GL ガルシア語	1393	OC プロバンス語	1581	VI ベトナム語
1196	GN グアラニ語	1403	OM (アフアン) オロモ語	1587	VO ボラビュク語
1203	GU グジャラート語	1408	OR オリヤー語	1613	WO ウォロフ語
1209	HA ハウサ語	1417	PA バンジャブ語	1632	XH コーサ語
1217	HI ヒンディー語	1428	PL ポーランド語	1665	YO ヨルバ語
1226	HR クロアチア語	1435	PS パシュトー語	1684	ZH 中国語
1229	HU ハンガリー語	1436	PT ポルトガル語	1697	ZU ズール語
1233	HY アルメニア語	1463	QU ケチュア語		
1235	IA 国際語	1481	RM ラエティ=ロマン語		

■ 手順 4 (Ⓔ M-25)で“ダイナミックレンジ圧縮”を選んだ場合

ドルビーデジタル方式で記録されたDVDビデオ再生時に出力する音の音域を設定できます。

5

① ダイナミックレンジの圧縮をする／しない (ON / OFF)の設定をする。

: ONをタッチすると圧縮し、OFFをタッチすると圧縮しません。
ONは小さい音量でも迫力のある音で楽しみたいときに、OFFは標準音域で聞くとときに選んでください。



② 戻る をタッチする。

: DVD 設定画面に戻ります。

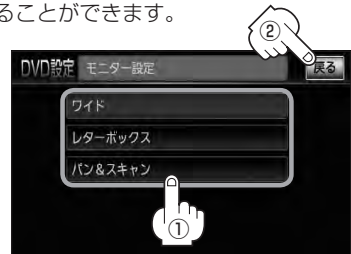
■ 手順 4 (Ⓔ M-25)で“モニター設定”を選んだ場合

DVDビデオ再生時に優先したい画像アスペクト比を切り替えることができます。

5

① 設定したいアスペクト比(ワイド / レターボックス / パン&スキャン)をタッチ する。

※ 16:9ワイドスクリーン / 4:3レターボックス /
4:3パン&スキャンとなります。



② 戻る をタッチする。

: DVD 設定画面に戻ります。



アドバンス

ディスクに収録されていないアスペクト比を選んだ場合は、ディスクに収録されているアスペクト比のいずれかで再生されます。また、ディスクによっては、1つのアスペクト比しか収録していないものもあります。再生するディスクの説明書をご確認ください。



注意

お客様が個人的に視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴されることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行なうと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

■ 手順 4 (M-25)で“視聴制限レベル”を選んだ場合

視聴制限が収録されているDVDビデオの視聴制限レベルの設定ができます。

5

下記の視聴制限レベルを参照して設定したいレベルをタッチする。

視聴 制限 レベル	“制限なし” 視聴制限を無効	下にいくほど制限が厳しくなります。
	“8” — すべてのDVDビデオの再生可	
	“7”	
	“6”	
	“5” — 子供向／一般向のみ再生可	
	“4”	
	“3”	
	“2”	
	“1” — 子供向のみ再生可(一般向／成人向再生は禁止)	



※視聴制限を解除してディスクを再生する場合は、“制限なし”を選択してください。

□ レベルを変更すると

レベルを変更すると、パスワード確認画面が表示されます。

① 現在のパスワードを **0** ～ **9** (10キー)をタッチして入力する。



0 ～ **9** ボタン(10キー)

② 入力が終わったら **決定** をタッチする。



- 間違ったパスワードを入力すると“入力されたパスワードが間違っています”と表示されます。再度正しいパスワードを入力しなおしてください。
- パスワードを入力しないかぎり、レベルを変更することはできません。
※工場出荷時の(現在の)パスワードは“0000”となっています。
(現在のパスワードは変更することができます。(M-31 参照))
- ディスクに視聴制限用のデータが入っていない場合は制限が効きません。
- 工場出荷時の(現在の)視聴制限レベルは“制限なし”となっています。

■ 手順 4 (M-25)で“パスワード変更”を選んだ場合

5

- ① 現在のパスワード／新しいパスワード／パスワード再入力を **0** ～ **9** (10キー) をタッチして入力する。



- ② **決定** をタッチする。
: DVD 設定画面に戻ります。



アドハイス

- 入力した数字を訂正するときは **クリア** をタッチして数字を再入力してください。
- 正しいパスワードを入力しない限り、視聴制限設定ができなくなります。
変更したパスワードは、忘れないでください。
- 視聴制限が収録されていないディスクの場合は、本機で再生を制限することはできません。
- 前ページへ戻る場合は、**戻る** をタッチしてください。
- パスワードを忘れてしまったら、現在のパスワードに“0000”を入力してください。
- 工場出荷時のパスワードは“0000”に設定されています。

N

ワンセグを見る

ワンセグについて.....N-2

地上デジタルテレビ放送の

チャンネル変更(リパック)について.....N-2

ワンセグの番組受信について.....N-3

マルチサービスについて.....N-3

ワンセグの画像について.....N-3

各部の名称とはたらき.....N-4

バーナー表示について.....N-4

タッチパネル部について.....N-5

ワンセグメニューについて.....N-6

ワンセグを見る.....N-7

ワンセグモードにすると.....N-7

中継・系列局サーチをする.....N-8

番組表を見る.....N-9

視聴エリアの変更(地方／県域の設定)を

する.....N-10

スキャンする.....N-12

初期スキャン／再スキャンをする.....N-12

選局する.....N-14

手動選局で放送局を選ぶ.....N-14

自動選局で放送局を選ぶ.....N-14

プリセットで放送局を選ぶ.....N-15

リストで放送局を選ぶ.....N-16

プリセットボタンにメモリーする.....N-18

エリア呼出／プリセット呼出について.....N-19

チャンネルリスト／プリセットリストを

クリアする.....N-20

設定をする.....N-22

時計表示設定.....N-22

中継・系列局サーチ設定.....N-23

音声と字幕の設定をする.....N-24

受信可能なチャンネルと受信レベルを確認し、

受信する.....N-25

設定を初期化する.....N-27

N-2 ワンセグについて

地上デジタルテレビ放送は、地上アナログ放送がデジタル化された放送で、2003年12月から東京・名古屋・大阪を中心とする関東・中京・近畿の一部で開始された放送です(その他の地域では2006年末までに放送が開始されました)。データ放送を利用することもできます。また、地上デジタルテレビ放送の電波の一部を使用して携帯電話などの小型機器でもご家庭と同じようにテレビやデータ放送を見ることができる地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」があります。地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」とは地上デジタルテレビ放送の電波の約6MHzの帯域を13個のセグメントに分割し、その1つのセグメントを利用して放送されることから、ワンセグと呼ばれるようになりました。

本機では地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」を見ることができます。なお、地上デジタルテレビ放送や地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」は、地上アナログ放送のUHF帯の電波を使用して放送されています。

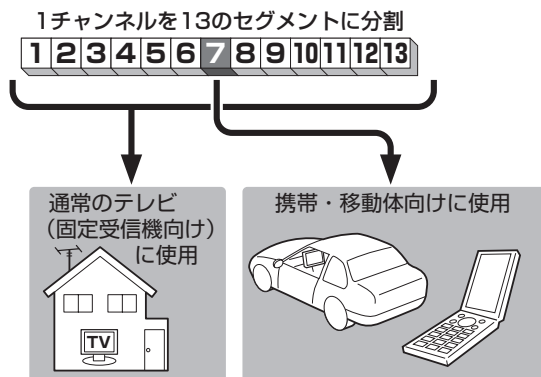
※本機はワンセグ受信中に緊急警報放送を受信した際、自動的に電源をONにする機能は持ちません。



アドバイス

「ワンセグ」サービスの詳細につきましては、下記ホームページなどでご確認ください。

社団法人 デジタル放送推進協会 <http://www.dpa.or.jp/>



ワンセグは13個のセグメントのうちの1つを使って、携帯電話などの小型機器に向けた地上デジタルテレビ放送です。

ワンセグの番組内容は、12セグメントを使っている通常のテレビ(固定受信機向け)の番組内容と異なる場合があります。

地上デジタルテレビ放送のチャンネル変更(リパック)について

- 2011年8月末より一部の地域を対象として、地上デジタルテレビ放送の周波数資源の再分配や受信障害の解消をおこなうために、地上デジタルテレビ放送の一部チャンネルの周波数変更(リパック)が実施されます。これは総務省が推進する事業で約1年間の期間をかけて対象地域で順次実施されるものです。

※ただし、東北地方の岩手県、宮城県、については2013年の3月末までに実施されます。

- 地上デジタルテレビ放送のチャンネルが変更されることで視聴ができなくなった場合、本機で再スキャンする必要があります。(P. N-12)
- 地上デジタルテレビ放送のチャンネル変更(リパック)の情報に関しては下記のホームページをご覧ください。

<http://digisuppo.jp/index.php/repack/#repack-main>

ワンセグの番組受信について

- 地上デジタルテレビ放送「ワンセグ」では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音かとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺環境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など(パソコンや携帯電話など)を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像にブロックノイズが出たり、音かとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなる場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたり雑音が入る場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声が乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動き等により受信状態が悪くなり、映像・音声が乱れる場合があります。
- 地域、天候により電波・受信状況が変わる場合があります。
- 受信状態が弱い場合、パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコン、ファンなどの車両電装品を作動させると映像にブロックノイズが出たり、音かとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。

マルチサービスについて

「マルチサービス」とは、1つの放送局が同じ周波数で複数の番組(サービス)を放送している運用形態のことです。番組内容は放送局によって異なりますが、地域や時間帯によっては、放送されていないことがあります。

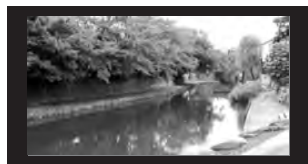
以下の点にご注意ください。

- 本機はARIB(電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。

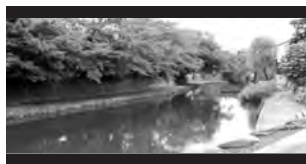
ワンセグの画像について

地上デジタルテレビ放送「ワンセグ」は、各放送局から送られてくるデータをそのまま表示しています。データによって画像の大きさ(比率)が異なります。チャンネルを変えたり、CMや次の番組に変わったときなど、下記のように画像の周りや上下、左右が黒く表示されるなど、不自然な画像になる場合があります。

(例)周りが黒く表示される



(例)上下が黒く表示される



(例)左右が黒く表示される



N-4 各部の名称とはたらき

バーナー表示について

地上デジタル放送(ワンセグ)を選局したときや受信中に画面をタッチすると、画面に下のような表示が現われます。これをバーナー表示と呼びます。バーナー表示には、番組に関するさまざまな情報が表示されます。



① チャンネル番号

② 電波状態表示

：本数が多いほど受信状態は良好です。

③ 放送局名

※マルチサービスを受信しているときは、放送局名の後ろにサービス番組が表示されます。

④ 番組名および記号

番組の名称を最大 15 文字まで表示します。

また、下記記号が番組名の前／後に表示されることがあります。

(例)

番組連動データ放送

字幕放送

サラウンドステレオ音声

音声多重放送

再放送

ステレオ放送

音声解説

吹き替え

ワイド放送

マルチビューテレビ放送 …など

※記号は放送局側で付けられています。

※上記以外の記号もあります。

タッチパネル部について

画面をタッチすると操作ボタン(タッチパネルボタン)が約5秒間表示されます。(下記)

※操作ボタンの表示を止めるには、もう一度画面をタッチするか表示が消えるまで待ちます。

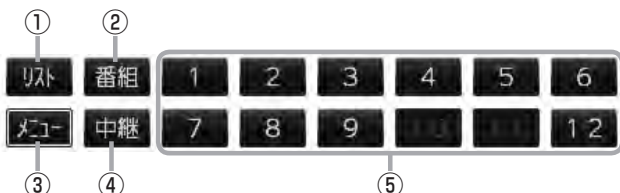


アドバンス

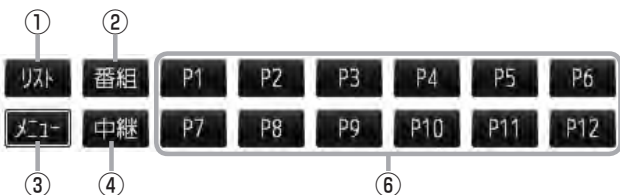
操作ボタンは、チャンネルリストまたはプリセットリストのどちらかを設定しているかによって表示内容(機能)が異なります。[設定] N-16、N-17

操作ボタン

チャンネルリスト 設定中の場合



プリセットリスト 設定中の場合



① リスト ボタン

チャンネルリストまたはプリセットリスト画面を表示します。

[設定] N-16

② 番組 ボタン

番組表を表示します。

[設定] N-9

③ メニュー ボタン

ワンセグメニュー画面を表示します。

[設定] N-6

④ 中継 ボタン

中継・系列局をサーチします。

[設定] N-8

⑤ 1 ～ 12 ボタン(エリア)

あらかじめメモリーされている放送局を呼び出すことができます。

[設定] N-15

⑥ P1 ～ P12 ボタン(プリセット)

プリセットリスト画面でメモリーした物理チャンネル(13～62ch)を表示します。

※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽くタッチします。

[設定] N-15、N-16

ワンセグメニューについて

画面をタッチして操作ボタンを表示させているとき、**メニュー** をタッチするとワンセグメニュー画面を表示させることができます。ワンセグの各機能や設定はこのワンセグメニューを使って行ないます。

① **エリア変更** ボタン

視聴エリアを変更します。

【P】 N-10

② **各種設定** ボタン

時計表示設定 【P】 N-22

中継・系列局サーチ設定 【P】 N-23

③ **音声字幕** ボタン

音声設定、字幕設定をすることができます。

【P】 N-24

④ **スキャン** ボタン

初期スキャン／再スキャンをすることができます。

【P】 N-12

⑤ **受信レベル確認** ボタン

受信レベルの確認をすることができます。

【P】 N-25

⑥ **システム情報** ボタン

メモリの初期化をすることができます。

【P】 N-27

⑦ **戻る** ボタン

受信画面または1つ前の画面に戻ります。

⑧ 操作状態を表示



映像は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみご覧になることができます。
(走行中は音声のみになります。)

ワンセグモードにすると

GPSから得たお車の位置に自動でワンセグの視聴エリアの変更を行ない、また中継・系列局サーチ機能により放送が受信できるまでサーチ(探索)を行ないます。



中継・系列局サーチの設定で“自動”を選択している場合

N-23 参照(初期は自動に設定)

※受信できない場合や、視聴エリアを手動で変更する場合は、
視聴エリアの変更を行なって地方と県域を設定してください。

「視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする」N-10

中継・系列局サーチをする

中継・系列局サーチとは、走行地域が変わって放送局が受信できなくなった場合、受信していた放送局の中継局またはその系列局が受信可能になるまで選局し続ける機能です。

もとの放送局に中継局がある場合、その中継局の選局をしたり、エリア内に同じ系列に属する放送局があった場合、これを選局したりしてサーチ動作を続けます。

「中継局」とは、放送局が周波数を変えて(あるいは同じ周波数で)、サービス地域の受信を補償するため、同じ放送内容を再送信する施設のことです。これに対して「系列局」とは、いわゆる同じ「ネットワーク系列」に属する別の放送局です。従って放送内容が必ずしも同じであるとは限りません。

「ネットワーク系列」として、次のものを定義しています。

NHK 総合系列、NHK 教育系列、TBS 系列、NTV(日本テレビ)系列、CX(フジ)系列、テレビ朝日系列、テレビ東京系列、独立 UHF 局系列(2011 年 3 月現在)

※中継・系列局サーチの自動/手動の設定につきましては、

「**中継・系列局サーチ設定**」N-23 をご覧ください。

1

自動/手動で中継・系列局をサーチする。

■ 中継・系列局サーチを自動でする場合

：受信できなくなると、自動で中継・系列局をサーチします。

■ 中継・系列局サーチを手動でする場合

① 画面をタッチし、**中継** をタッチする。



(例)中継・系列局サーチ中画面



：受信状態にかかわらず、すぐに中継・系列局をサーチします。



サーチ中に **⏮** / **⏭** (選局) を押す、または **1** ~ **12** (エリア) / **P1** ~ **P12** (プリセット) をタッチするとサーチは止まり、要求された選局を行ないます。

受信中のチャンネルの電子番組表(EPG)を表示し、現在放送中の番組や今後放送される番組を確認したり、番組の詳細情報を見ることができます。

1

画面をタッチし操作ボタンを表示させ、

番組 をタッチする。

：番組表が表示されます。

(例) 番組表



放送局名

放送開始時刻と番組名

次ページがある場合、番組表を
ページ戻し／ページ送りすることができます。

(例) 操作ボタン表示画面



1-2

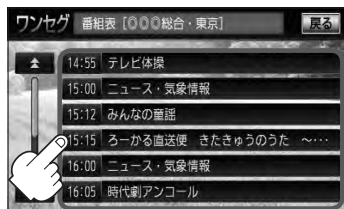
さらに番組の詳細情報を見ることができます。

■ 番組表から詳細内容を見る場合

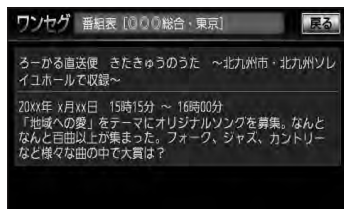
① 番組表(リスト)の中から確認したい番組をタッチする。

：番組詳細画面が表示され、内容確認ができます。

(例) 番組表



(例) 番組詳細画面



2

番組表を見たら、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。



アドバイス

- 番組表(または番組の詳細内容)を表示するまでに時間がかかる場合があります。
- 番組表を表示中に番組表の更新があった場合は、表示内容が更新されます。
- 放送時間が未定の番組があるチャンネルは、正しく表示できない場合があります。
- 他の放送局の番組表を表示したい場合は、受信画面で表示したい放送局を選局しなおす必要があります。

視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする

初期設定のエリア変更は「自動」に設定されています。



アドバイス

お車の走行地域が変わっても、本機は自動で視聴エリアの変更を行ないます。GPSで現在位置が受信できない場合や、手動で地域と県域を設定する場合は下記に従って操作してください。

現在地によって受信できる放送局(**1** ～ **12** (エリア)に割り当てられる放送局)が異なります。

1

画面をタッチし操作ボタンを表示させ、

メニュー をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

(例)操作ボタン表示画面



2

エリア変更 をタッチする。

：視聴エリア変更画面が表示されます。

ワンセグメニュー画面



3

手動 をタッチする。

：視聴エリア(地方)が選択可能となります。

※すでに“手動”が設定されている場合は、
手順 **4** (N-11)へ進んでください。

■ エリア変更を“自動”にする場合

① 右記画面のとき **自動** をタッチする。

： “自動” に設定されます。

視聴エリア変更画面



4

現在地の地方と県域をタッチする。

視聴エリア変更画面(地方選択時)



視聴エリア変更画面(県域選択時)



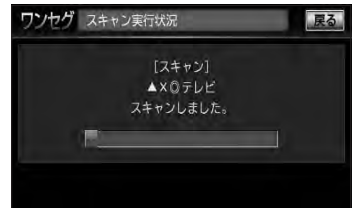
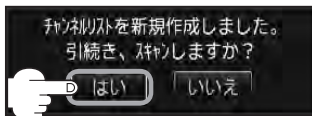
選択した地域(エリア)のチャンネルリストを作成し、地域(県域)で放送されている放送局がすべて **1** ～ **12** (エリア)にプリセット(メモリー)されます。

※選択している地域で放送されている放送局をすべてプリセット(メモリー)するため、受信できない放送局が含まれている場合もあります。

：現在地を変更し、スキャンを行なうかどうかのメッセージが表示されます。

■ スキャンを行なう場合

① **はい** をタッチする。

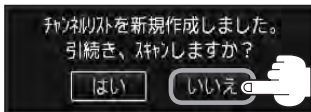


：スキャンを開始します。

※スキャンが終了すると受信画面を表示します。

■ スキャンを行なわない場合

① **いいえ** をタッチする。



：スキャンをしないで受信画面を表示します。



- 視聴エリアを変更した場合は **はい** をタッチしスキャンすることをおすすめします。
- スキャンを行なうと視聴エリア(チャンネルリスト、**1** ～ **12** (エリア))にプリセット(メモリー)された局の中継局をスキャン(探索)します。
※現在地付近に新しく開局された放送局や現在地に隣接した地域で受信できる放送局を追加したいときは再スキャンを行なってください。[P] N-13

初期スキャン／再スキャンをする

1

画面をタッチし操作ボタンを表示させ、

メニュー をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

(例)操作ボタン表示画面



2

スキャン をタッチする。

：スキャン画面が表示されます。

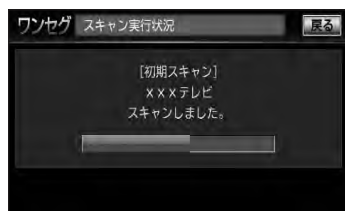
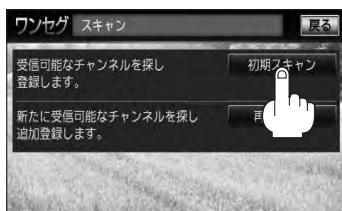
ワンセグメニュー画面



3

初期スキャン／再スキャンを選択する。

■ 初期スキャンをする場合

① **初期スキャン** をタッチする。

：受信可能なチャンネルを探し、受信可能なチャンネルをプリセット（メモリー）します。スキャンが終了すると受信画面が表示されます。

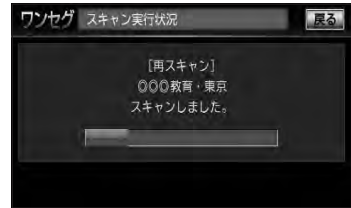
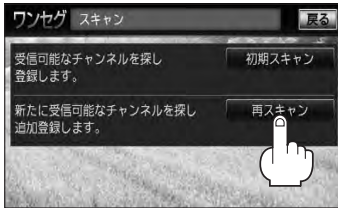


初期スキャンを行なうと視聴エリア（チャンネルリスト、**1**～**12**（エリア）にメモリーされるエリア）が最新の状態となります。

■ 再スキャンをする場合

現在地付近に新しく開設された放送局や、現在地に隣接した地域で受信できる放送局を追加したいときに行ないます。

① **再スキャン** をタッチする。



：新たに受信可能なチャンネルを探し、追加でプリセット(メモリー)します。スキャンが終了すると受信画面が表示されます。



アドハイス

- スキャンが終了するまでには数十秒～数分かかります。
- 走行地域によって複数の地域の放送を受信できるときは、チャンネル番号が重複する場合があります。チャンネル番号が重複して枝番号が追加された場合など **1** ～ **12** (エリア) にプリセット登録されない番組もあります。

N-14 選局する

チャンネルを選びます。(手動選局／自動選局／プリセット選局／リスト選局)

手動選局で放送局を選ぶ

1

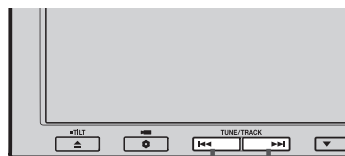
⏮ / ⏭ (選局)を押す。

：ボタンを押すたびに、次のプリセットチャンネルに変わります。



アドバイス

地域によっては同じチャンネル番号に複数の放送局がメモリーされる場合があります。その場合、ボタンを押すごとにプリセット(メモリー)されている放送局に順に変わります。



1

⏮ / ⏭
ボタン(選局)

⏮ 側ダウン
⏭ 側アップ

自動選局で放送局を選ぶ

1

⏮ / ⏭ (選局)を長押しする。

：自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。
希望の放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。

※自動選局中に ⏮ / ⏭ (選局)を押すと、自動選局は止まり、チャンネルリストの中でチャンネル番号の一番若い放送局を選局します。



アドバイス

- 自動選局中は“シーク動作中”と表示されます。
- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。この場合、全チャンネルを一通りシーク(探し求めた)後、自動選局は止まります。

プリセットで放送局を選ぶ

プリセット選局は、視聴エリアの変更やスキャンによって **1** ～ **12** (エリア) にメモリーされた放送局を呼び出す“エリア呼び出し”と、お好きな放送局をお客様ご自身が **P1** ～ **P12** (プリセット) にメモリーし呼び出す“プリセット呼び出し”があります。

※あらかじめ **1** ～ **12** (エリア) / **P1** ～ **P12** (プリセット) に放送局をメモリーしておく必要があります。

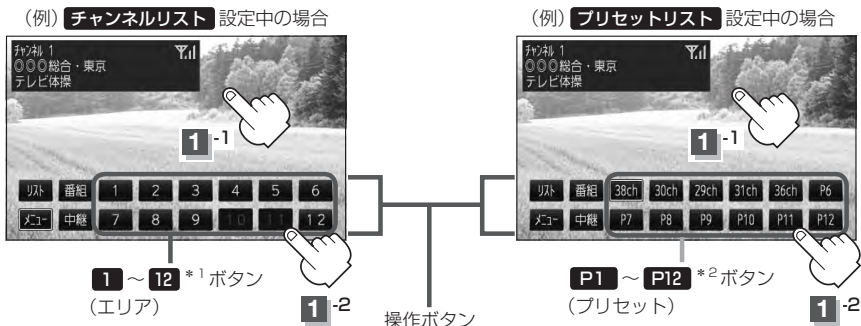
☞ 「視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする」N-10

☞ 「スキャンする」N-12

☞ 「プリセットボタンにメモリーする」N-18

1

画面をタッチし操作ボタンを表示させ、**1** ～ **12** (エリア) または **P1** ～ **P12** (プリセット) の中で呼び出したい数字をタッチする。



：選択したボタンにメモリーされている放送局を受信します。



アトハイス

* 1 印…放送局が割り当てられていないボタンは選択できません。

* 2 印… **P1** ～ **P12** は放送局をメモリーすると、メモリーした放送局の物理チャンネル表示 (**13ch** ～ **62ch**) となります。

- **1** ～ **12** (エリア) に設定されるチャンネルは、地域によって異なります。複数のチャンネルが設定されている場合、その **1** ～ **12** (エリア) をタッチすることによって設定されたチャンネルを順に選局します。
- **1** ～ **12** (エリア) / **P1** ～ **P12** (プリセット) に、どの放送局がメモリーされているのかチャンネルリスト画面／プリセットリスト画面(☞ N-17)より確認できます。また、エリア番号と放送局の組み合わせは☞ 「チャンネル一覧」Q-48より確認できます。

リストで放送局を選ぶ

リスト選局にはチャンネルリスト選局とプリセットリスト選局があります。リストに表示された放送局を呼び出すことができます。

チャンネルリスト…視聴エリアの変更やスキャンによって自動でプリセット(メモリー)された放送局の一覧

プリセットリスト…お客様ご自身が好きな放送局を手動でプリセット(メモリー)した放送局の一覧

※あらかじめ放送局をメモリーしておく必要があります。

☞「視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする」N-10

☞「スキャンする」N-12

☞「プリセットボタンにメモリーする」N-18

1

画面をタッチし操作ボタンを表示させ、
リスト をタッチする。

：チャンネルリスト画面が表示されます。



2

チャンネルリストまたはプリセットリストより放送局を呼び出す。

■ チャンネルリストより放送局を呼び出す場合

① リストより呼び出したい放送局をタッチする。

チャンネルリスト画面(例)



エリア番号 放送局名

現在の設定内容(エリア番号と放送局名の
組み合わせ)を確認できます。

：選択した放送局を受信します。



アドバイス

- プリセットリスト(右記)が表示された場合は **チャンネルリスト** をタッチするとチャンネルリスト画面を表示します。
- 視聴エリアの変更で自動に設定されている場合は、チャンネルリスト／**1** ～ **12** (エリア)は自動で変更されます。



アドバイス

チャンネルリストに表示されるエリア番号と放送局の組み合わせは☞「チャンネル一覧」Q-48より確認できます。

■ プリセットリストより放送局を呼び出す場合

① **プリセットリスト** をタッチする。

② リストより呼び出したい放送局をタッチする。

チャンネルリスト画面(例)



プリセットリスト画面(例)



: プリセットリスト画面が表示されます。

P1～P12表示 放送局名と物理チャンネル



すでにプリセットリストを表示している場合は手順①を省略することができます。

現在の設定内容(プリセット番号と放送局名と物理チャンネルの組み合わせ)を確認できます。

: 選択した放送局を受信します。



アドハイス

- チャンネルリストは操作ボタンの**1**～**12**(エリア)にメモリーされているエリア番号と放送局名を表示します。
※地域によっては同じ番号に複数の放送局がメモリーされる場合があります。

チャンネルリスト画面(例)



エリア番号 放送局名

操作ボタン



(例) 1～12 ボタン(エリア)

- プリセットリストは操作ボタンの**P1**～**P12**(プリセット)にメモリーされているプリセット番号と放送局名/物理チャンネル*を表示します。
*印…物理チャンネル(※N-25)

プリセットリスト画面(例)



プリセット番号

放送局名/
物理チャンネル※メモリーされていない場合、
リストに表示されません。

操作ボタン

(例) P1～P12 ボタン
(プリセット)

- 表示されるリストは最終選択時の状態を保持するため、チャンネルリスト/プリセットリストのどちらが表示されるか状態によって異なります。
- チャンネルリスト/プリセットリストは何も操作しなかった場合、約10秒後に消えます。

プリセット選局(☞ N-15)やリスト選局(☞ N-16)をするために、あらかじめ放送局をメモリーしておく必要があります。

1

◀▶ (選局)を押して、メモリーしたい局を選ぶ。

☞ 「手動選局で放送局を選ぶ」 / 「自動選局で放送局を選ぶ」 N-14

2

プリセットリストを呼び出す。

☞ 「リストで放送局を選ぶ」 N-16、N-17

3

プリセットリストのメモリーしたい
P1～P12を1.5秒以上タッチする。

：選択したボタンに放送局がメモリーされます。

※操作ボタン表示画面(☞ N-19)の操作ボタンの **P1**
～ **P12** 表示は設定すると **13ch** ～ **62ch** (物理チャンネル)表示へと変わります。

※選局中や放送局を受信できない状態では、放送局をメモリーすることはできません。



P1 に38チャンネルをプリセット
(メモリー)した場合



メモリーした放送局が表示
されます。



アドバース

- メモリーした放送局を呼び出すには **P1** ～ **P12** (プリセット)を軽く(1.5秒未満)タッチします。
☞ N-15
- すでにメモリーされているボタンに新たにプリセットすると、それまでの放送局は上書き(消去)されます。

エリア呼出／プリセット呼出について

画面をタッチしたときに表示される操作ボタンは設定により異なります。

チャンネルリスト設定中(☞ N-16)に
画面をタッチすると



1 ～ **12** (エリア)が表示される

プリセットリスト設定中(☞ N-17)に
画面をタッチすると



P1 ～ **P12** (プリセット)が表示される

※ **1** ～ **12** (エリア)には、視聴エリアの変更やスキャンによって自動でメモリーされた放送局が割り当てられています。

P1 ～ **P12** (プリセット)は、お客様ご自身がお好きな放送局をメモリーします。☞ N-18
メモリーしたボタンは物理チャンネル*の表示に変わります。たとえば **P1** に38チャンネルを
プリセットすると **P1** は **38ch** 表示になります。

*印…物理チャンネル☞ N-25

※操作ボタンの表示は最終選択時の状態を保持するため、**チャンネルリスト** / **プリセットリスト**
のどちらを選択したかによって表示が異なります。☞ N-16、N-17

※初期状態はチャンネルリストが設定されています。

チャンネルリスト／プリセットリストをクリアする

1

画面をタッチし操作ボタンを表示させ、
リスト をタッチする。

：チャンネルリスト画面が表示されます。

操作ボタン表示画面(例)



2

チャンネルリストまたはプリセットリストをクリアする。

■ チャンネルリストをクリアする場合

① **リストクリア** をタッチする。

チャンネルリスト画面(例)



：チャンネルリストをクリアしてもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチするとチャンネルリストがクリアされます。(視聴エリアのチャンネルリストをセットします。)

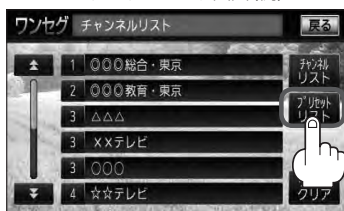


プリセットリストが表示された場合は **チャンネルリスト** をタッチするとチャンネルリスト画面を表示します。

■ プリセットリストをクリアする場合

① **プリセットリスト** をタッチする。

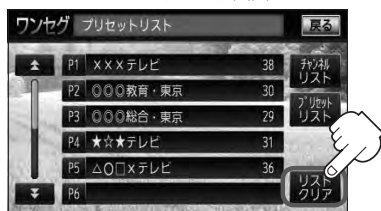
チャンネルリスト画面(例)



：プリセットリスト画面が表示されます。

② **リストクリア** をタッチする。

プリセットリスト画面



：プリセットリストをクリアしてもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチすると、プリセットリストがクリアされます。(すべての登録内容がから(空白)になります。)



すでにプリセットリストを表示している場合は手順①を省略することができます。

3

設定を終えるには、表示が消えるまで待つか **戻る** をタッチする。

：視聴画面に戻ります。



アドバイス

- 表示されるリストは最終選択時の状態を保持するため、チャンネルリスト／プリセットリストのどちらが表示されるかは状態によって異なります。
- チャンネルリスト／プリセットリストは何も操作しなかった場合、約10秒後に消えます。

時計表示設定

ワンセグ受信中に時計を表示させるかどうかの設定をすることができます。

1

画面をタッチし操作ボタンを表示させ、

メニュー をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

(例) 操作ボタン表示画面



2

各種設定 をタッチする。

：各種設定画面が表示されます。



3

時計表示をするかどうかの設定をする。

■ 時計を表示させる場合

① **する** をタッチする。

：受信画面で常に時計を表示します。

時計表示



■ 時計を表示させない場合

① **しない** をタッチする。

：時計は表示されません。

各種設定画面



4

設定を終えるには **戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。

中継・系列局サーチ設定

お車の走行地域が変わって放送局が受信できなくなった場合、“自動で中継・系列局サーチを起動”するかどうかの設定をすることができます。

☞「中継・系列局サーチをする」N-8をご覧ください。

1

画面をタッチし操作ボタンを表示させ、
メニュー をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

(例)操作ボタン表示画面



2

各種設定 をタッチする。

：各種設定画面が表示されます。



3

自動／手動の設定をする。

■ **自動** をタッチした場合

：受信できない状態が一定時間以上続くと、自動で中継局と系列局を探します。

※受信していた放送局に受信可能な中継局、または現在地の視聴エリアに同じ系列に属する系列局がある場合、受信可能となるまでサーチし続けます。

■ **手動** をタッチした場合

：放送局が受信できなくなった場合、“受信できません”とメッセージが表示されます。

※手動で中継・系列局サーチをするには **中継** をタッチします。

☞「中継・系列局サーチをする」N-8

各種設定画面



映像
ワンセグ

4

設定を終えるには **戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。

音声と字幕の設定をする

数種類の音声と同時に放送されている番組では、本機で音声を切り替えることができます。また映画やドラマなど字幕のついた番組を受信したときは、字幕を画面に表示するように設定しておくことができます。

- 1** 画面をタッチし操作ボタンを表示させ、**メニュー** をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。



- 2** **音声字幕** をタッチする。

：音声／字幕設定画面が表示されます。

ワンセグメニュー画面



- 3** 音声または字幕の設定をする。

■ 音声の設定をする場合

- ① **音声1** / **音声2** および **主** / **副** / **主+副** をタッチする。

：タッチした時点でその設定(選択した音声)が確定(決定)されます。

※複数音声放送と二重音声放送の場合に有効となります。

音声／字幕設定画面



■ 字幕の設定をする場合

- ① **字幕1** / **字幕2** をタッチする。

：タッチした時点で選択した字幕が確定(決定)されます。

※字幕がある番組の場合に有効となります。

音声／字幕設定画面



字幕の表示を止めるときは **字幕なし** をタッチしてください。

- 4** 設定を終えるには **戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。



アドバース

- 字幕の大きさや位置は番組によって異なります。本機で変更することはできません。
- 番組によっては、字幕が音声より遅れて表示されます。

受信可能なチャンネルと受信レベルを確認し、受信する

チャンネルを入力して受信可能な放送局かどうかを確認することができます。また、受信状態を確認することもできます。

1

画面をタッチし操作ボタンを表示させ、

メニュー をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

(例) 操作ボタン表示画面

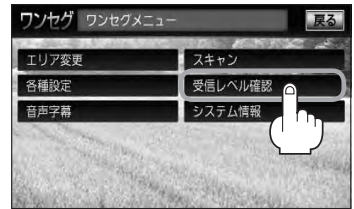


2

受信レベル確認 をタッチする。

：受信レベル確認画面が表示されます。

ワンセグメニュー画面



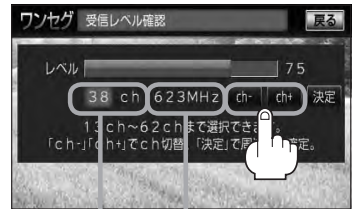
3

ch- / **ch+** をタッチする。

：タッチするたびに1チャンネルずつ変わります。
13～62ch(物理チャンネル)の中から確認したいチャンネルを選択してください。

※チャンネルを変更するとチャンネルにあった周波数が表示されます。

(例) 受信レベル確認画面



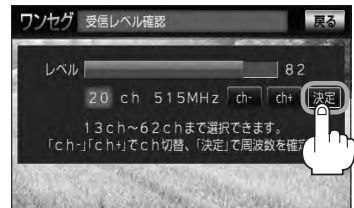
周波数表示
チャンネル表示
(物理チャンネル13ch～62ch)

映像
ワンセグ

4

決定 をタッチする。

：チャンネル(周波数)を確定し、レベルを確認することができます。また、確定したチャンネル(周波数)の放送局が存在すれば、その放送局を受信することができます。(放送局が存在しない場合は受信できなくなります。)



5

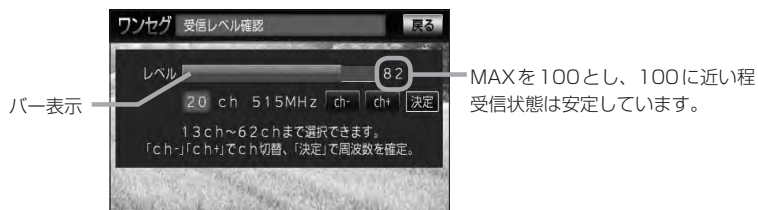
設定を終えるには **戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。



アドバイス

- 受信レベル確認画面のとき本機の受信状態を(バーの長さや数値にて)確認することができます。

(例) 受信レベル確認画面



※受信レベルが高くても視聴できるとは
限りません。

設定を初期化する

ワンセグメニューで変更した各種設定内容を初期化することができます。

- 1 画面をタッチし操作ボタンを表示させ、
メニュー をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

(例)操作ボタン表示画面



- 2 **システム情報** をタッチする。

：システム情報画面が表示されます。

ワンセグメニュー画面



- 3 **メモリ初期化** をタッチする。

：初期化してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** を画面に従ってタッチすると、設定内容を初期化します。

システム情報画面



映像
ワンセグ

- 4 初期化を終えたら、初期化完了のメッセージが表示されるので **OK** をタッチする。

- 5 設定を終えるには **戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。



アドバース

他人に譲渡または処分などされる際は、**メモリ初期化** を行ない、お客様が設定された内容や情報などを必ず消去してください。



お願い

- 初期化中は車のエンジンスイッチを変更しないでください。
故障の原因となります。
- 初期化を行なうと設定やデータは消去され、二度と復帰しません。

0

VTRを使う

映像
V
T
R

各部の名称とはたらき	0-2
タッチパネル部について	0-2
接続する	0-3

タッチパネル部について

※操作ボタンは画面をタッチしたときに表示されます。

① **ボタン消** ボタン

表示しているボタンを消し、映像を全画面表示します。

② **画面サイズ** ボタン

画面サイズ(ノーマル/フル/ワイド/シネマ)を変更
することができます。

📺 M-8 手順 **3** 参照

※接続の前に、接続する機器の電源を切り、車のエンジンスイッチを0(ロック)にして、本機の電源を切ってください。

本機に別売のVTRコードまたはAUX接続コードを使用して市販のVTR機器やポータブルオーディオ機器などの外部入力装置を利用した映像や音声を本機に出力することができます。

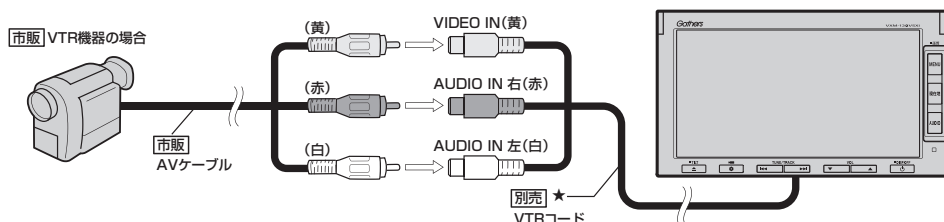
※出力するには、別売の下記コードをお買い求めください。



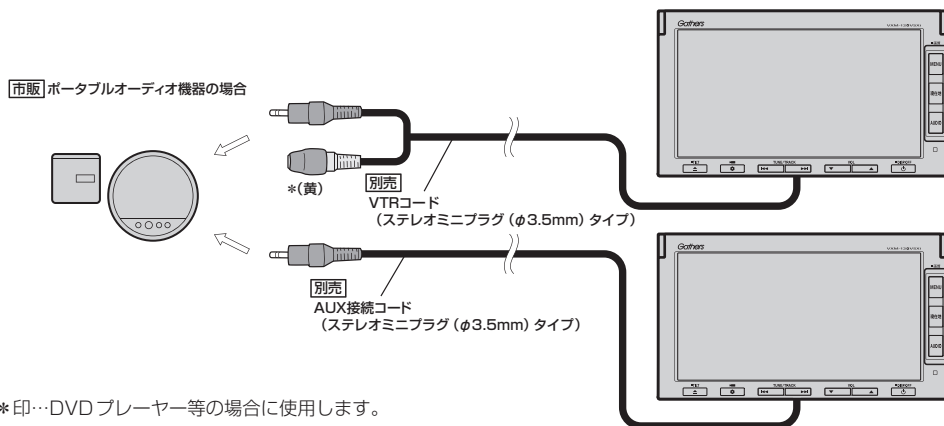
VTR 機器などの映像は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみご覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)

1

機器を接続する。



★印…iPodを再生させるために、VTRコードにiPod接続コード(別売)が接続されている場合はそちらを外してください。K-4イラスト参照



* 印…DVD プレーヤー等の場合に使用します。

2

本機と使用する機器の電源を入れる。

※車のエンジンスイッチをⅡ(ON)状態にします。

3 VTR 機器やポータブルオーディオ機器を操作する。

※操作のしかたはそれぞれの機器に付属の説明書をご覧ください。



お願い

本機の電源を OFF (G-8)、または、エンジンスイッチ O (ロック) にする場合は、接続される機器の電源も一緒に OFF してください。



アドバイス

- 別売の AUX 接続コードを接続した場合の操作方法は、VTR モードから行なってください。
- VTR 端子から入力された映像や音声は VTR モードにすることにより見たり、聞くことができます。
- VTR の音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。
 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 G-17
- **ボタン消** をタッチするとボタンと情報バー表示を消します。
- 接続した機器によっては映像や音声が出ない場合があります。
- 接続した機器に音量調整機能がある場合は、本機の音声とバランスをとるようにしてください。(調整してください。)
- 下記レベルを超えた機器を接続した場合、映像や音にひずみなどが生じ、正常に動作しない場合があります。

AV 入力端子 (RCA × 1 系統)

映像入力レベル 1Vpp (入力インピーダンス 75Ω)

音声最大入力レベル 2.0V (入力インピーダンス 47kΩ)

- 接続する VTR 機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。